

【健康科学科】

カリキュラムマップ

カリキュラムマップとは、授業科目と教育目標の関係を示した表のことで、ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）に基づき、各科目が卒業するまでに身につける能力のどの項目と関連するかを示しています。

このカリキュラムマップにより、学修内容の順次性や科目間の関連性が一目でわかり、自らの学修内容を容易に把握することができます。

健康科学部健康科学科 カリキュラムマップ			健康科学部健康科学科のディプロマポリシー（DP）			
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	Z-DP1 1. 科学的根拠に基づいた知識や指導力・実践力を持っている。	Z-DP2 2. 社会的な健康問題に対して、自ら課題を設定し解決するために考え行動することができる。	Z-DP3 3. コミュニケーション能力があり、協働して目標に向かうことができる。	Z-DP4 4. 健康科学に携わる者として国際性に富んだ幅広い教養と高い倫理観を身につけている。
宗教学Ⅰ B111-113-01	「建学の精神」を学び、また、多様な宗教の見方・捉え方(分類法など)や、世界各地の宗教の概要・歴史を学習する。	宗教を客観的に学ぶことで高い倫理性を持った人間性を獲得し、また、世界各地の宗教を学ぶことで多様な文化・価値観を理解する。				◎
宗教学Ⅱ B111-113-02	インドで生まれた仏教・禅の教え(世界観・価値観)の基本を学び、世界各地へ伝わった歴史を学ぶ。	仏教の智慧を学ぶことで、課題発見力や問題解決力を養い、また、慈悲を学ぶことで、他者との協調性を養い、価値観の多様化した現代においても力強く生きられる柔軟性を得る。				◎
心理学Ⅰ B131-285-01	心理学は、心の営みを科学的に解明しようとする学問分野で、認知、生理、発達、教育、社会、臨床など様々な領域から成り立っている。各領域の代表的な知見に触れながら、基本的な心の仕組みと働きを学ぶ。	様々な実証的研究知見に基づき、心の仕組みや働きを理解し、自己の心の働きや行動について内省したり、自己や他者の心の働きに関心を向けたりすることにより、良好な人間関係を構築できるようになること。				◎
心理学Ⅱ B131-285-02	心理学は、心の営みを科学的に解明しようとする学問分野で、認知、生理、発達、教育、社会、臨床など様々な領域から成り立っている。各領域の代表的な知見に触れながら、基本的な心の仕組みと働きを学ぶ。	様々な実証的研究知見に基づき、心の仕組みや働きを理解し、自己の心の働きや行動について内省したり、自己や他者の心の働きに関心を向けたりすることにより、良好な人間関係を構築できるようになること。				◎
哲学Ⅰ B131-111-01	哲学史、倫理学、社会哲学、科学哲学、等々、哲学という広範な学問領域の中から分野を絞り込んで概説する。各々の分野を通して、哲学という学問一般に特徴的な思考様式や方法論の理解・習得を目指す。	言葉＝ロゴスによる説得という哲学的な思考様式の特徴を理解すると同時に、その思考様式を身の周りの具体的な問題に適用できる応用力を養う。				◎
哲学Ⅱ B131-111-02	哲学史、倫理学、社会哲学、科学哲学、等々、哲学という広範な学問領域の中から分野を絞り込んで概説する。各々の分野を通して、哲学という学問一般に特徴的な思考様式や方法論の理解・習得を目指す。	言葉＝ロゴスによる説得という哲学的な思考様式の特徴を理解すると同時に、その思考様式を身の周りの具体的な問題に適用できる応用力を養う。				◎
論理学Ⅰ B131-111-11	現代記号論理学を中心に、命題論理と述語論理の基礎を学ぶと同時に、それを一つの素地にして形成された言語哲学やクリティカル・シンキングといった、発展的・実践的分野についても一定の理解を得る。	命題論理と述語論理の基本となる考え方を学んで、人間の思考における論理の役割を理解すると同時に、問題演習等を通して論理的な推論実践の技術を磨く。				◎
論理学Ⅱ B131-111-12	現代記号論理学を中心に、命題論理と述語論理の基礎を学ぶと同時に、それを一つの素地にして形成された言語哲学やクリティカル・シンキングといった、発展的・実践的分野についても一定の理解を得る。	命題論理と述語論理の基本となる考え方を学んで、人間の思考における論理の役割を理解すると同時に、問題演習等を通して論理的な推論実践の技術を磨く。				◎
文学Ⅰ B131-135-01	日本語・日本文学について歴史的・文化的・社会的側面から解説し、様々な言語事象の背後にある原理や、古今の文学作品に描かれている諸問題について、受講生が新たな視点で理解できるよう指導する。	日本語・日本文学に関する基礎学力、日本文化をはじめとする多様なものごとを論理的に分析する力、多様な文化及び価値観について自発的に課題を立てて考える力、を修得することを目標とする。				◎
文学Ⅱ B131-135-02	日本語・日本文学について歴史的・文化的・社会的側面から解説し、様々な言語事象の背後にある原理や、古今の文学作品に描かれている諸問題について、受講生が新たな視点で理解できるよう指導する。	日本語・日本文学に関する基礎学力、日本文化をはじめとする多様なものごとを論理的に分析する力、多様な文化及び価値観について自発的に課題を立てて考える力、を修得することを目標とする。				◎
美術Ⅰ B-131-116-01	美術の歴史、人物、環境等を通し現代社会の美術の見方、考え方を学び美術の基本姿勢を修得させていく。	美術の基本的な姿勢や見方を修得する。個々の美術観を築き表現法を見出ししていく。				◎

健康科学部健康科学科 カリキュラムマップ			健康科学部健康科学科のディプロマポリシー (DP)			
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	Z-DP1	Z-DP2	Z-DP3	Z-DP4
			1. 科学的根拠に基づいた知識や指導力・実践力を持っている。	2. 社会的な健康問題に対して、自ら課題を設定し解り、協働して目標に向かうことができる。	3. コミュニケーション能力があり、協働して目標に向かうことができる。	4. 健康科学に携わる者として国際性に富んだ幅広い教養と高い倫理観を身につけている。
美術Ⅱ B131-116-02	美術の基本理念に基づき多様に広がる美術事情を探り自己の美意識を広げ表現力を高めていく。	美術の理念を深め自己の造形に表現力を加え、美術の基礎の確立を計る。				◎
法学Ⅰ B131-211-01	法学全般の基礎、及び憲法の基礎について講義する。	法学全般に通じる基本原理、及び憲法の基本原理を理解する。		○		◎
法学Ⅱ B131-211-02	民法の基礎について講義する。	民法の基本原理を理解する。		○		◎
政治学Ⅰ B131-222-01	民主主義・自由主義などの原理、執政制度・選挙制度などの政治制度を学ぶ。	政治の基本的原理や制度を理解する。				◎
政治学Ⅱ B131-222-02	日米英独仏など各国の政治を比較して学ぶ。国際政治の仕組みについて学ぶ。	各国政治および国際政治の基本を理解する。				◎
経済学Ⅰ B131-231-01	経済学の基礎概念をミクロ経済学で扱うトピックスを中心に概説する。	ミクロ経済学の基本的な概念を理解し、ミクロ経済学的に経済事象を論じることができるような基礎的能力を身につける。				◎
経済学Ⅱ B131-231-02	経済学の基礎概念をマクロ経済学で扱うトピックスを中心に概説する。	マクロ経済学の基本的な概念を理解し、マクロ経済学的に経済事象を論じることができるような基礎的能力を身につける。				◎
社会学Ⅰ B131-261-01	本講義は、具体例を挙げながら、社会学が考えてきたこと、明らかにしてきたことを確認し、社会学の概念や方法を理解していきます。また、それらの知識を用いて、現代社会の諸課題についても考えます。	社会学の「問い」、「概念」、「方法」を理解すること。そして、社会学的思考を用いて、自ら現代社会の諸課題の様相について説明できるようになること。		○		◎
社会学Ⅱ B131-261-02	本講義は、社会階層、文化集団、コミュニティ等を取り上げ、社会学的な視点からそれらの集団の特徴を理解していきます。そして各集団と現代社会の諸課題の関連についても考えていきます。	各集団の特徴を理解すること。そして、現代社会の諸課題が各集団のなかでなぜ発生し、どのように顕在化していくのかについて説明できるようになること。		○		◎
教育学Ⅰ B131-271-01	教育学は、人がよりよく生きるために欠かせない「教育」を対象とする学問である。その特徴は哲学、歴史学、社会学、行政学などの学問を基礎とした学際的な性格にあり、本授業では教育を様々な角度から考察する。	教育学の基礎的知識や概念を理解できるとともに、その基礎知識や概念を活用して現代の教育状況について多面的に考察でき、さらに自らが社会の形成者として教育についての意見を持つことができることを目指す。	○			◎
教育学Ⅱ B131-271-02	教育学は、人がよりよく生きるために欠かせない「教育」を対象とする学問である。その特徴は哲学、歴史学、社会学、行政学などの学問を基礎とした学際的な性格にあり、本授業では教育を様々な角度から考察する。	教育学の基礎的知識や概念を理解できるとともに、その基礎知識や概念を活用して現代の教育状況について多面的に考察でき、さらに自らが社会の形成者として教育についての意見を持つことができることを目指す。	○			◎
歴史学Ⅰ B131-161-01	文献資料や映像資料を駆使して、日本及び外国の歴史に関する講義を行っている。また受講生に対して、授業内では講義内容に関する感想を書かせたり、定期試験では主に論述問題を課したりしている。	歴史における文化の形成を広い視野に立って考察することによって、歴史的思考力を培い、日本や外国の成立の歴史的過程と特質を把握させて、近代市民としての自覚を深める。				◎
歴史学Ⅱ B131-161-02	文献資料や映像資料を駆使して、日本及び外国の歴史に関する講義を行っている。また受講生に対して、授業内では講義内容に関する感想を書かせたり、定期試験では主に論述問題を課したりしている。	歴史における文化の形成を広い視野に立って考察することによって、歴史的思考力を培い、日本や外国の成立の歴史的過程と特質を把握させて、近代市民としての自覚を深める。				◎
地理学Ⅰ B131-181-01	地理学の基礎的な知識を、国内外の社会の中にみられる具体的な実例を挙げながら紹介する。社会や自然を構成する多様な要素を取り上げ、それらの相互関係や、分布の差異を示すことで、地理学的なもののとらえ方を身につける。	社会の中にみられる諸現象を地理学的な観点から説明することができる。世界あるいは日本の中にみられる多様性と地域性について理解することができる。				◎

健康科学部健康科学科 カリキュラムマップ			健康科学部健康科学科のディプロマポリシー (DP)			
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	Z-DP1	Z-DP2	Z-DP3	Z-DP4
			1. 科学的根拠に基づいた知識や指導力・実践力を持っている。	2. 社会的な健康問題に対して、自ら課題を設定し、決断するために考え行動することができる。	3. コミュニケーション能力があり、協働して目標に向かうことができる。	4. 健康科学に携わる者として国際性に富んだ幅広い教養と高い倫理観を身につけている。
地理学Ⅱ B131-181-02	地理学が扱う多様な課題の中から特定のものを取り上げ、その問題を関連する事象とともに追究する。このことによって、取り上げる課題についての理解を深めるとともに、地理学的なもののとらえ方についても深化させる。	取り上げる地理学的課題についての基礎的な知識事項を述べるができる。取り上げる地理学的課題を通じて、世界・日本の社会・自然のあり方について、論理的な考察が行えるようになる。				◎
数学Ⅰ B131-323-01	数学の問題を解くことを通して、数学的な手法と論理的思考を学ぶ。	社会で生きていく上で必要な数学的手法と論理的思考の習得を到達目標とする。				◎
数学Ⅱ B131-323-02	数学の問題を解くことを通して、より進んだ数学的な手法と論理的思考を学ぶ。	社会で生きていく上で必要な、より進んだ数学的手法と論理的思考の習得を到達目標とする。				◎
統計学Ⅰ B131-603-01	統計の問題を解くことを通して、統計的な手法と統計的な論理的思考を学ぶ。	社会生活に役立つ統計的手法と統計的な論理的思考の習得を到達目標とする。				◎
統計学Ⅱ B131-603-02	統計の問題を解くことを通して、より進んだ統計的な手法と統計的な論理的思考を学ぶ。	社会生活に役立つ、より進んだ統計的手法と統計的な論理的思考の習得を到達目標とする。				◎
物理学Ⅰ B131-420-01	身近な現象を題材にして、生活や社会に密接に関わっている「物理」を学ぶ。	なぜ?という疑問を持ち、それを解決するために論理的に考える力を身につける。				◎
物理学Ⅱ B131-420-02	身近な現象を題材にして、生活や社会に密接に関わっている「物理」を学ぶ。	なぜ?という疑問を持ち、それを解決するために論理的に考える力を身につける。				◎
化学Ⅰ B131-420-11	化学の基礎を学びながら、日常生活に関わる身の回りの物質を化学的立場から捉え、化学が果たしている役割を考えます。「なぜこうなるの?」といった好奇心から出発して、化学の面白さを伝えます。	素朴な疑問をもとに、文系の学生にとっての化学に対する苦手意識を軽減します。化学的なモノの考え方を修得し、科学リテラシーや論理的思考力を身につけることを目標とします。				◎
化学Ⅱ B131-420-12	化学の基礎を学びながら、日常生活に関わる身の回りの物質を化学的立場から捉え、化学が果たしている役割を考えます。「なぜこうなるの?」といった好奇心から出発して、化学の面白さを伝えます。	素朴な疑問をもとに、文系の学生にとっての化学に対する苦手意識を軽減します。化学的なモノの考え方を修得し、科学リテラシーや論理的思考力を身につけることを目標とします。				◎
生物学Ⅰ B131-420-21	身近なできごとやさまざまな社会問題と生物学の関わりを知り、生物を理解するために必要な教養レベルでの基礎的知識と概念を学ぶ。	社会生活の中で直面する様々な医療問題や環境問題などを正しく理解し、また自分で考えるために必要な基礎的な生物学的知識を身につける。				◎
生物学Ⅱ B131-420-22	身近なできごとやさまざまな社会問題と生物学の関わりを知り、生物を理解するために必要な教養レベルでの基礎的知識と概念を学ぶ。	社会生活の中で直面する様々な医療問題や環境問題などを正しく理解し、また自分で考えるために必要な基礎的な生物学的知識を身につける。				◎
情報科学Ⅰ B131-601-01	コンピュータを扱うことを通して、コンピュータとネットワークの知識を習得する。	社会生活に役立つコンピュータとネットワークの知識と、その倫理的問題点の習得を到達目標とする。		○		◎
情報科学Ⅱ B131-601-02	コンピュータを扱うことを通して、コンピュータとネットワークのより進んだ知識を習得する。	社会生活に役立つより進んだコンピュータとネットワークの知識と、その倫理的問題点の習得を到達目標とする。				◎
情報科学Ⅲ B131-601-03	コンピュータを通して、データサイエンスに関してリテラシーレベルよりも一歩進んだ知識を習得する。	データサイエンスに関して、リテラシーレベルよりも一歩進んだ知識と、その倫理的問題点の習得を到達目標とする。				◎
情報科学Ⅳ B131-601-04	コンピュータを通して、データサイエンスに関してより進んだ知識を習得する。	データサイエンスに関して、より進んだ知識と、その倫理的問題点の習得を到達目標とする。				◎
仏教と現代社会Ⅰ B231-112-01	現代社会の諸問題に関する仏教からの提言	仏教的価値観を対立軸として、現代社会の価値観や諸課題を考える力を育てる。				◎
仏教と現代社会Ⅱ B231-112-02	現代社会の諸問題に関する仏教からの提言	仏教的価値観を対立軸として、現代社会の価値観や諸課題を考える力を育てる。				◎
禅と人間Ⅰ B231-112-11	禅の概要および禅宗の特徴を概説し、禅語(公案)を通じて禅の思想を解説するとともに、坐禅の実習によって禅の修行を体感する。	坐禅や公案の学習などの禅の修行生活の重要な要素を通じて、禅の本質を理解する。				◎

健康科学部健康科学科 カリキュラムマップ			健康科学部健康科学科のディプロマポリシー (DP)			
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	Z-DP1	Z-DP2	Z-DP3	Z-DP4
			1. 科学的根拠に基づいた知識や指導力・実践力を持っている。	2. 社会的な健康問題に対して、自ら課題を設定し解るために考え行動することができる。	3. コミュニケーション能力があり、協働して目標に向かうことができる。	4. 健康科学に携わる者として国際性に富んだ幅広い教養と高い倫理観を身につけている。
禅と人間Ⅱ B231-112-12	中国および日本における禅宗の歴史や思想を概説し、禅の影響のもと成立した茶道・絵画・建築・陶磁器・書などの日本独自文化を解説する。	禅と日本文化との関係を具体的に理解し、禅によって培われた日本独自の美意識や感性を体得する。				◎
生命に関する諸問題Ⅰ B231-118-01	「生と死」という解決し難い古来からのテーマについて、自然・人文・社会科学などの多様な視点・観点からアプローチする。	総合的に問題を捉えて解決したり、創造性を持って新たな課題を見出したりする力をつける。自分なりの「生命観」・「人生観」・「死生観」を築く。	○			◎
生命に関する諸問題Ⅱ B231-118-02	「生と死」という解決し難い古来からのテーマについて、自然・人文・社会科学などの多様な視点・観点からアプローチする。	総合的に問題を捉えて解決したり、創造性を持って新たな課題を見出したりする力をつける。自分なりの「生命観」・「人生観」・「死生観」を築く。	○			◎
人間行動の理解Ⅰ B231-285-01	心理学で扱う理論や事象は実験や調査で得られたデータに基づいている。本講義では、実際に実験を行い、仮説検証の考え方からデータの収集方法、結果の解釈に至るまで、心理学の基本的な方法論について理解を深める。	心の仕組みや働きを明らかにするための様々な方法論を理解したうえで、科学的な手続きと正確なデータ収集の重要性を認識し、さらにそれらをまとめて論理的な報告書の作成ができるようになること。			○	◎
人間行動の理解Ⅱ B231-285-02	フロイトの精神分析の口語版といわれる「交流分析」の理論と実践について学ぶ。交流分析は、パーソナリティ理論やコミュニケーション理論を含む心理療法のひとつであり、自己洞察を繰り返すことで、より良い人間関係と自己の生き方を築くことを目指す。	自己理解と他者理解を深め、よりよいコミュニケーションと自己の問題点の把握と改善へつなげること。			○	◎
人間の尊厳と平等Ⅰ B231-261-01	本授業では、これまでに人間社会が形成してきた人権について、様々な歴史的事例や条文などの学びを通して、人権の基礎を習得する。	人権の成立過程や現代における課題を学び、一人一人の人間性を尊重し、他者と協調できるようになる。また、差別について批判的精神を養う。	○	○		◎
人間の尊厳と平等Ⅱ B231-261-02	本授業では、社会福祉の成立過程を学びながら、「福祉国家」や「社会福祉事業」への理解を深め、社会福祉の基礎を習得する。	社会福祉の学びを通して、一人一人の人間性を尊重し、多様な価値観を理解できるようになる。そして、自ら社会貢献が積極的に可能になることを目指す。				◎
日本の文化と社会Ⅰ B231-162-01	日本の歴史・文学・ことばを中心に、人々がそれらの事象とどのように関わってきたのか、どのような変化をとげてきたのか、を学ぶ。	科学的な探究の精神に基づいて、日本における、社会と文化と人間に対する理解を深め、複眼の視座を涵養する。				◎
日本の文化と社会Ⅱ B231-162-02	日本の歴史・文学・ことばを中心に、人々がそれらの事象とどのように関わってきたのか、どのような変化をとげてきたのか、を学ぶ。	科学的な探究の精神に基づいて、日本における、社会と文化と人間に対する理解を深め、複眼の視座を涵養する。				◎
アジアの文化と社会Ⅰ B231-163-01	文献資料や映像資料を駆使して、中国の芸能・小説などの伝統文化、及び近現代の政治・社会史に関する講義を行う。また定期試験などを通して受講生に論述の機会を設けている。	日本人にとって「他者」である中国を多面的に理解することを目指す。その上で、筋道を立てた論述能力や課題発見力、問題解決力を涵養することを目指す。	○			◎
アジアの文化と社会Ⅱ B231-163-02	文献資料や映像資料を駆使して、中国の芸能・小説などの伝統文化、及び近現代の政治・社会史に関する講義を行う。また定期試験などを通して受講生に論述の機会を設けている。	日本人にとって「他者」である中国を多面的に理解することを目指す。その上で、筋道を立てた論述能力や課題発見力、問題解決力を涵養することを目指す。	○			◎
ヨーロッパの文化と社会Ⅰ B231-165-01	ヨーロッパの思想・文化の理解	ヨーロッパ諸国の事例を学習することで、未来の日本社会構築の参考にする。				◎
ヨーロッパの文化と社会Ⅱ B231-165-02	ヨーロッパの思想・文化の理解	ヨーロッパ諸国の事例を学習することで、未来の日本社会構築の参考にする。				◎
英語圏の文化と社会Ⅰ B231-804-01	英語圏の文化的な側面と社会的な側面について講義	英語圏の文化や英語の使用における社会的な背景について理解できる。				◎

健康科学部健康科学科 カリキュラムマップ			健康科学部健康科学科のディプロマポリシー (DP)			
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	Z-DP1	Z-DP2	Z-DP3	Z-DP4
			1. 科学的根拠に基づいた知識や指導力・実践力を持っている。	2. 社会的な健康問題に対して、自ら課題を設定し解り、協働して目標に向かうことができる。	3. コミュニケーション能力があり、協働して目標に向かうことができる。	4. 健康科学に携わる者として国際性に富んだ幅広い教養と高い倫理観を身につけている。
英語圏の文化と社会Ⅱ B231-804-02	英語圏の文化的な側面と社会的な側面について講義	英語圏の文化や英語の使用における社会的な背景について理解して説明できる。				○
人間と環境Ⅰ B231-646-01	社会・地球・自然・食など様々な角度から人間と環境の関わりについて学んでゆきます。	人間をとりまく種々の環境についての正しい知識を学び、玉石混淆の情報から正しい情報を読み解く力を身につけることができる。		○		○
人間と環境Ⅱ B231-646-02	社会・地球・自然・食など様々な角度から人間と環境の関わりについて学んでゆきます。	人間をとりまく種々の環境についての正しい知識を学び、玉石混淆の情報から正しい情報を読み解く力を身につけることができる。		○		○
情報と社会Ⅰ B231-622-01	ネットワーク社会における情報の扱い方と倫理的問題点を習得する。	ネットワーク社会における情報の扱い方と倫理的問題点の習得を到達目標とする。				○
情報と社会Ⅱ B231-622-02	ネットワーク社会におけるより進んだ情報の扱い方と倫理的問題点を習得する。	ネットワーク社会におけるより進んだ情報の扱い方と倫理的問題点の習得を到達目標とする。				○
産業と科学Ⅰ B231-118-01	生活に関連した産業と科学技術に関する話題を、複数の視点から多角的に分析し、解説する。	産業と科学技術に関する知識を学び、それを生かして生活における諸問題に対処できるような柔軟な思考力を身につける。				○
産業と科学Ⅱ B231-118-02	生活に関連した産業と科学技術に関する話題を、複数の視点から多角的に分析し、解説する。	産業と科学技術に関する知識を学び、それを生かして生活における諸問題に対処できるような柔軟な思考力を身につける。				○
ソフトウェア概論Ⅰ B231-605-01	コンピュータ・プログラミングの課題を解くことを通して、コンピュータの多様な使い方を習得する。	コンピュータ・プログラミングとコンピュータの多様な使い方の習得を到達目標とする。				○
ソフトウェア概論Ⅱ B231-605-02	コンピュータ・プログラミングの課題を解くことを通して、より進んだコンピュータの多様な使い方を習得する。	より進んだコンピュータ・プログラミングとコンピュータの多様な使い方の習得を到達目標とする。				○
英語Ⅰa B114-141-01	英語のリスニングと英会話を中心とした授業	基礎的な英語表現の聞き取りと基礎的な会話表現ができる。			○	○
英語Ⅱa B114-141-02	英語のリスニングと英会話を中心とした授業	少し発展的な英語表現の聞き取りと会話表現ができる。			○	○
英語Ⅰb B114-141-03	英語の読解を中心とした総合演習	基礎的な英文を読んで内容が理解できる。				○
英語Ⅱb B114-141-04	英語の読解を中心とした総合演習	少し発展的な英文を読んで内容が理解できる。				○
英語Ⅰc B114-141-05	英作文・英文法を中心とした総合英語	基礎的な英文を書いて自己表現ができる。				○
英語Ⅱc B114-141-06	英作文・英文法を中心とした総合英語	少し発展的な英文を書いて自己表現ができる。				○
日本語Ⅰa B114-139-01	高度な文法力や読解力を身につけることを目的に論理的な文章を読む。	論理的な文章が読めるようになる。また、教材を通して日本社会への理解を深めることができる。				○
日本語Ⅱa B114-139-02	読解力を向上させるために、論理的な文章だけでなく、エッセイなども取り上げて読む。	様々なタイプの文章を、一人で読めるようになる。また、内容に関して意見や感想をまとめることができる。				○
日本語Ⅰb B114-139-03	日本語の聴解、会話、口頭発表を扱う。	留学生活に必要な聴解力・会話力を身につけ、わかりやすい発表ができるようになる。			○	○
日本語Ⅱb B114-139-04	日本語の聴解、会話、口頭発表を扱う。	日本社会で起きている話題について聴き取れ、資料を基に論理的に意見が述べられるようになる。			○	○
日本語Ⅰc B114-139-05	論理的な文章をわかりやすく書くための基礎的な技法を学ぶ。	事実と自分の考えとを書き分ける力、資料に基づいて自分の考えを書き進める力などを身につけることができる。				○
日本語Ⅱc B114-139-06	関心のあるテーマについて問題を見出し、資料を用いてその答えをレポートとしてまとめる。	レポートを書くことを通して、読み・書きの高度な日本語力を身につけることができる。				○
英会話Ⅰ B134-141-11	外国人教員による英会話演習	簡単な英会話で自己表現ができる。			○	○

健康科学部健康科学科 カリキュラムマップ			健康科学部健康科学科のディプロマポリシー (DP)			
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	Z-DP1	Z-DP2	Z-DP3	Z-DP4
			1. 科学的根拠に基づいた知識や指導力・実践力を持っている。	2. 社会的な健康問題に対して、自ら課題を設定し決断するために考え行動することができる。	3. コミュニケーション能力があり、協働して目標に向かうことができる。	4. 健康科学に携わる者として国際性に富んだ幅広い教養と高い倫理観を身につけている。
英会話Ⅱ B134-141-12	外国人教員による英会話演習	少し発展的な内容の英会話で自己表現ができる。			○	◎
英会話Ⅲ B234-141-21	外国人教員による発展的英会話演習	日常的な内容の英会話で自己表現ができる。			○	◎
英会話Ⅳ B234-141-22	外国人教員による発展的英会話演習	発展的な様々な内容の英会話で自己表現ができる。			○	◎
メディア英語Ⅰ B134-141-17	ビデオや映画等のメディアを使った英語演習	映画やニュースなどで基本的な表現が理解できる。			○	◎
メディア英語Ⅱ B134-141-18	ビデオや映画等のメディアを使った英語演習	映画やニュースなどで少し発展的な表現が理解できる。			○	◎
メディア英語Ⅲ B234-141-27	ビデオや映画等のメディアを使った発展的英語演習	映画やニュースなどで多くの表現をそのまま理解できる。			○	◎
メディア英語Ⅳ B234-141-28	ビデオや映画等のメディアを使った発展的英語演習	映画やニュースなどで発展的な内容がそのまま理解できる。			○	◎
英語表現法Ⅰ B134-141-15	英作文や会話などの英語による自己表現演習	基礎的な英語を使って自己表現ができる。			○	◎
英語表現法Ⅱ B134-141-16	英作文や会話などの英語による自己表現演習	少し発展的な英語を使って自己表現ができる。			○	◎
英語表現法Ⅲ B234-141-25	英作文や会話などの英語による発展的自己表現演習	英語表現を使って自分の意見や考えを表現できる。			○	◎
英語表現法Ⅳ B234-141-26	英作文や会話などの英語による発展的自己表現演習	少し発展的な英語表現を使って自分の意見や考えを表現できる。			○	◎
英語読解法Ⅰ B134-141-13	様々な英文を読んで理解する読解演習	辞書を使って、自分で様々な英文の内容が理解できる。			○	◎
英語読解法Ⅱ B134-141-14	様々な英文を読んで理解する読解演習	辞書を使って、自分で少し発展的な英文の内容が理解できる。			○	◎
英語読解法Ⅲ B234-141-23	発展的な英文を読んで理解する読解演習	辞書を使って、様々な英文の内容が理解できる。			○	◎
英語読解法Ⅳ B234-141-24	発展的な英文を読んで理解する読解演習	辞書を使って、様々な発展的な英文の内容が理解できる。			○	◎
実践英語Ⅰ B134-141-31	TOEIC等の検定試験対策の演習	TOEIC等の検定試験で基礎的な問題の解答ができる。			○	◎
実践英語Ⅱ B134-141-32	TOEIC等の検定試験対策の演習	TOEIC等の検定試験で少し発展的な問題の解答ができる。			○	◎
実践英語Ⅲ B234-141-41	TOEIC等の検定試験対策の発展的演習	TOEIC等の検定試験で発展的な問題の解答ができる。			○	◎
実践英語Ⅳ B234-141-42	TOEIC等の検定試験対策の発展的演習	TOEIC等の検定試験で少し高度な問題の解答ができる。			○	◎
ドイツ語Ⅰ(基礎) B134-145-11	ドイツ語の基礎力養成	基本的なドイツ語構造の理解				◎
ドイツ語Ⅱ(基礎) B134-145-12	ドイツ語の基礎力養成	基本的なドイツ語構造の理解				◎
ドイツ語Ⅲ(読解) B234-145-21	中級ドイツ語能力養成	ドイツ語の読解力強化			○	◎
ドイツ語Ⅳ(読解) B234-145-22	中級ドイツ語能力養成	ドイツ語の読解力強化			○	◎
ドイツ語Ⅲ(表現) B234-145-31	中級ドイツ語能力養成	ドイツ語の表現力(作文力)強化			○	◎
ドイツ語Ⅳ(表現) B234-145-32	中級ドイツ語能力養成	ドイツ語の表現力(作文力)強化			○	◎
ドイツ語Ⅲ(総合) B234-145-41	中級ドイツ語能力養成	中級のテキストを用いたドイツ語の運用能力強化			○	◎
ドイツ語Ⅳ(総合) B234-145-42	中級ドイツ語能力養成	中級のテキストを用いたドイツ語の運用能力強化			○	◎
ドイツ語会話Ⅰ B234-145-51	中級ドイツ語能力養成	ドイツ語の会話能力の養成			○	◎
ドイツ語会話Ⅱ B234-145-52	中級ドイツ語能力養成	ドイツ語の会話能力の養成			○	◎

健康科学部健康科学科 カリキュラムマップ			健康科学部健康科学科のディプロマポリシー (DP)			
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	Z-DP1	Z-DP2	Z-DP3	Z-DP4
			1. 科学的根拠に基づいた知識や指導力・実践力を持っている。	2. 社会的な健康問題に対して、自ら課題を設定し解決するために考え行動することができる。	3. コミュニケーション能力があり、協働して目標に向かうことができる。	4. 健康科学に携わる者として国際性に富んだ幅広い教養と高い倫理観を身につけている。
中国語Ⅰ(基礎) B134-147-11	発音の習得から始めて、入門時に必要とされる常用単語及び初歩的な文型を学び、未習外国語である中国語の学習の基礎を固める。常に双方向の授業を心がけ、中国語運用能力の基礎を作る。	中国語の発音を習得し、中国語のローマ字表記を読めるようにする。併せて、初歩的な常用単語及び初歩的な文型を習得し、簡単な中国語を使えるようにする。				◎
中国語Ⅱ(基礎) B134-147-12	中国語Ⅰで学んだ中国語の基礎の上にさらにステップアップを目指す。発音の習熟度をより高め、語彙及び理解でき、かつ使用できる文型を増やすことによって、中国語の運用能力を高める。	中国語の発音をより確実なものにし、より多くの常用語彙、重要文型を学び、中国語の構造に対する理解を深め、初歩的な中国語運用能力を身につけるようにする。				◎
中国語Ⅲ(読解) B234-147-21	1年次に習得した中国語を基礎に、簡単な文章を読むことによって中国語の文法構造等に対する理解を深め、中国語の読解力をレベルアップして資格取得などに役立てる。	300語程度の常用単語を身につけ、中国語の文法構造に対する理解を深め、中国語の文章の読解力を高める。併せて、中国政府公認の中国語検定試験HSK2級の合格を目指す。			○	◎
中国語Ⅳ(読解) B234-147-22	中国語Ⅲ(読解)を受けて、様々な文章を読むことによって、中国語の文法構造等に対する理解をさらに深め、中国語の読解力をさらにレベルアップして資格取得などに役立てる。	600語程度の常用単語を身につけ、中国語の文法構造に対する理解を深め、中国語の文章の読解力を高める。併せて、中国政府公認の中国語検定試験HSK3級の合格を目指す。			○	◎
中国語Ⅲ(表現) B234-147-31	1年次に習得した中国語を基礎に、中国語の様々な表現を学んで中国語作文の練習をすることによって、中国語の文法構造等に対する理解を深め、中国語の表現力をレベルアップして資格取得などに役立てる。	300語程度の常用単語を身につけ、中国語の文法構造に対する理解を深め、中国語の表現力を高める。併せて、中国政府公認の中国語検定試験HSK2級の合格を目指す。			○	◎
中国語Ⅳ(表現) B234-147-32	中国語Ⅲ(読解)を受けて、中国語の様々な表現を学んで中国語作文の練習をすることによって、中国語の文法構造等に対する理解をさらに深め、中国語の表現力をさらにレベルアップして資格取得などに役立てる。	600語程度の常用単語を身につけ、中国語の文法構造に対する理解を深め、中国語の表現力を高める。併せて、中国政府公認の中国語検定試験HSK3級の合格を目指す。			○	◎
中国語Ⅲ(総合) B234-147-41	1年次に習得した中国語を基礎に、「読み、書き、聴き、話す」練習を通して、常用語を身につけ、中国語の文法構造等に対する理解を深め、中国語の運用能力をレベルアップして資格取得などに役立てる。	300語程度の常用単語を身につけ、中国語の文法構造に対する理解を深め、「読み、書き、聴き、話す」といった中国語の運用能力を全体的に高める。併せて、中国政府公認の中国語検定試験HSK2級の合格を目指す。			○	◎
中国語Ⅳ(総合) B234-147-42	中国語Ⅲ(総合)を受けて、「読み、書き、聴き、話す」練習を通して、使える常用語を増やし、中国語の文法構造等に対する理解をさらに深め、中国語の運用能力をさらにレベルアップして資格取得などに役立てる。	600語程度の常用単語を身につけ、中国語の文法構造に対する理解を深め、「読み、書き、聴き、話す」といった中国語の運用能力を全体的に高める。併せて、中国政府公認の中国語検定試験HSK3級の合格を目指す。			○	◎
中国語会話Ⅰ B234-147-51	発音の練習を重視し、ペアワークによる会話練習を行い、中国語の会話力を向上させる。併せて、作文と翻訳の練習も行い、中国語の総合的な運用能力を高める。	1年次で学んだ中国語の発音をより正確なものにし、あいさつなどの簡単な言葉から日常用いる初歩的な会話ができるようにする。中国政府公認の中国語検定試験HSK2級の合格を目指す。			○	◎
中国語会話Ⅱ B234-147-52	中国語会話Ⅰを受け、引き続き発音練習を重視し、ペアワークによる会話をほぼ毎回行って、会話力をより向上させる。併せて作文と翻訳の練習にも力を入れ、中国語の総合的な運用能力を高める。	中国語をより正確に発音できるようにし、より多くのことを表現できるよう会話力を高める。会話力と同時に、作文能力や読解力も向上させ、中国政府公認の中国語検定試験HSK3級の合格を目指す。			○	◎
フランス語Ⅰ(基礎) B134-146-11	綴りと音の関係を理解し、フランス語文の音読を可能にする。基本文型を暗記し、フランス語のリズムを覚える。	フランス語文を単独で音読できるようにし、挨拶や買い物などの簡単な日常会話に慣れる。				◎
フランス語Ⅱ(基礎) B134-146-12	人称の概念を理解し、基本動詞の活用を学習する。辞書を利用して平易なフランス語文を訳読し、暗記する。	会話文や説明文を、辞書を用いて単独で読解する。人物の会話から、フランス人の基本となる物の考え方を理解する。				◎

健康科学部健康科学科 カリキュラムマップ			健康科学部健康科学科のディプロマポリシー (DP)			
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	Z-DP1	Z-DP2	Z-DP3	Z-DP4
			1. 科学的根拠に基づいた知識や指導力・実践力を持っている。	2. 社会的な健康問題に対して、自ら課題を設定し、決断するために考え行動することができる。	3. コミュニケーション能力があり、協働して目標に向かうことができる。	4. 健康科学に携わる者として国際性に富んだ幅広い教養と高い倫理観を身につけている。
フランス語Ⅲ(総合) B234-146-41	短文の反復や言い換えにより、実生活に結びついたフランス語の表現を確実に身につける。	フランスで生活するつもりになって、フランス語でフランス人に意志を伝えるつもりで、フランス語会話に集中する。			○	◎
フランス語Ⅳ(総合) B234-146-42	練習問題による言い換えにより、実生活に結びついたフランス語の構造を確実に身につける。	フランス語の基本的な例文を覚えると同時に、日本語からフランス語への言い換えも行えるようにする。			○	◎
韓国語Ⅰ(基礎) B134-148-11	初めて学ぶ人を対象に韓国語に関する基礎知識と運用力を養成する科目である。韓国語の文字と発音を始めとし、日常生活で使える簡単な会話を学習することとする。	「読む、書く、聞く、話す」の4機能を総合的に学習し、韓国語の基本的な構造について理解することを目標とする。				◎
韓国語Ⅱ(基礎) B134-148-12	初めて学ぶ人を対象に韓国語に関する基礎知識と運用力を養成する科目である。韓国語の文字と発音を始めとし、日常生活で使える簡単な会話を学習することとする。	「読む、書く、聞く、話す」の4機能を総合的に学習し、韓国語の基本的な構造について理解することを目標とする。				◎
韓国語Ⅲ(読解) B234-148-21	韓国語Ⅰ・Ⅱを履修した人を対象にし、レベルアップした基礎文法を学ぶ。コミュニケーションの訓練とともに、文法と構文の理解、表現力を身につける。また、旅行やビジネス場面でよく使われる表現を学ぶ。	韓国語の基礎文法を踏まえ、より豊かな基礎会話を養うことを目標にする。徐々に語彙・文法項目を増やしていき、韓国語で書かれた文章に対する理解力を高める。			○	◎
韓国語Ⅳ(読解) B234-148-22	韓国語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲを履修した人を対象にし、中級を目指して実践的な表現を学ぶ。定型表現の学習は、ものの描写、要求・依頼・主張など様々な場面にふさわしい構文と語彙を習得し、言語運用力を養う。	中級レベルの文法や語彙を学び、韓国語としてより自然で円滑なコミュニケーションができるようにする。より豊かな言語表現力を養い、韓国語文章に対する「読む・書く」能力の上達を目標にする。			○	◎
韓国語Ⅲ(表現) B234-148-31	文字を覚えた学生を対象にし、授業計画に基づく韓国語の基礎知識と運用力を養成する。「読む」「書く」「聞く」「話す」の四技能をバランスよく総合的に身につけることを目指す。韓国語圏の世界の諸相を理解し、国際的な視野を広める。	韓国語の文字と発音を習った学生を対象とし、基本文の作り方を練習する。そのために、基本文法と単語の学習を行う。これに基づいて、実際の現場で使われる多様な文の構造及び会話表現の習得を目標とする。			○	◎
韓国語Ⅳ(表現) B234-148-32	韓国語の文字を覚えた学生を対象にし、授業計画に基づく韓国語の基礎知識と運用力を養成する。「読む」「書く」「聞く」「話す」の四技能をバランスよく総合的に身につけることを目指す。韓国語圏の世界の諸相を理解し、国際的な視野を広める。	韓国語の文字と発音を習った学生を対象とし、基礎的な文の作り方を練習する。そのために、基本文法と基礎単語の学習を行う。実際の現場で使われる多様な文の構造及び会話表現の習得を目標とする。			○	◎
韓国語Ⅲ(総合) B234-148-41	韓国語Ⅰ・Ⅱを履修した学生を対象にし、ハングル検定試験5級に合格するために必要な発音の仕組み、基本文法などを学習していく。文法事項や語句、日常会話文等を繰り返し練習し、ハングル検定試験5級合格に必要な基本的な能力を身につける。	基本文法については韓国語Ⅰ・Ⅱで学習した復習から始め、ハングル検定試験5級合格のために必要な発音と文法を学び、自ら学習できるようにする。基本文法と語句、日常会話文などの反復学習を通して習得していく。また練習問題と課題を通して、その定着と更なる応用発展を図る。			○	◎
韓国語Ⅳ(総合) B234-148-42	ハングル検定試験5級に合格するため、基本文法、語句、日常会話文などを学習する。また11月に実施されるハングル検定試験に向けて実際の過去問を用いて練習する。適宜、試験に必要な発音や文法、語彙に関する解説を行う。	ハングル検定試験5級に合格する。あるいは5級に挑戦できる能力を身につけることを目標とする。すでに5級を取得した学生にとっても、次のステップアップにつながる足場を固める場となることを目標とする。			○	◎
韓国語会話Ⅰ B234-148-51	韓国語の読み書きができ、文章の作成が出来るレベルに達していても、会話ができてとは限らない。ペアワークやグループワークを多く取り入れ、学んだ表現を使った会話文を用いて実際に話してみることにより、積極的に話す機会を与える。	ハングルの読み書きが確実にできるようになる。基礎的な文法を身につけ、あいさつ、自己紹介、身の回りのことについて自分の言いたいことを伝え、相手とコミュニケーションが取れるようにする。			○	◎

健康科学部健康科学科 カリキュラムマップ			健康科学部健康科学科のディプロマポリシー (DP)			
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	Z-DP1	Z-DP2	Z-DP3	Z-DP4
			1. 科学的根拠に基づいた知識や指導力・実践力を持っている。	2. 社会的な健康問題に対して、自ら課題を設定し解	3. コミュニケーション能力があり、協働して目標に向かうことができる。	4. 健康科学に携わる者として国際性に富んだ幅広い教養と高い倫理観を身につけている。
韓国語会話Ⅱ B234-148-52	韓国語の読み書きができ、文章の作成が出来るレベルに達していても、会話が出来るとは限らない。ペアワークやグループワークを多く取り入れ、学んだ表現を使った会話文を用いて実際に話してみるにより、積極的に話す機会を与える。	約700個の単語をもとに、初級レベルに必要な会話のスキルを身につけるようにする。その上で日本語とは異なる韓国語特有の会話の仕方を学習し、その背景にある文化についても考察できるようにする。			○	◎
韓国語会話Ⅲ B234-148-53	ネイティブによる発展的韓国語演習	韓国語の日常的な会話で自己表現ができる。			○	◎
韓国語会話Ⅳ B234-148-54	ネイティブによる発展的韓国語演習	韓国語の発展的な様々な内容の会話で自己表現ができる。			○	◎
スペイン語Ⅰ(基礎) B134-149-11	初めて学ぶ人を対象にグローバル言語の1つであるスペイン語に関する基礎知識と運用力を養成する科目である。スペイン語の常用単語及び初歩的な文型を学び日常生活で使える簡単な会話を学習することとする。	スペイン語の常用単語及び初歩的な文型を習得し、簡単な日常会話を使えるようにする。				◎
スペイン語Ⅱ(基礎) B134-149-12	スペイン語Ⅰ(基礎)で学んだスペイン語のさらなるステップアップを目指す。単語の理解や発音の習熟度をより高め、かつ使用できる文型を増やすことによって、スペイン語の運用能力を高める。	スペイン語の発音をより確実なものにし、多くの常用単語、重要文型を学び、初歩的なスペイン語運用能力を身につける。				◎
スペイン語Ⅲ(読解) B134-149-21	スペイン語Ⅰ、Ⅱを学んだ学生に向けた授業。過去形などさらにレベルアップした内容を学んでいく。	さまざまな時制を含むバリエーションに富んだ文章が理解できるようになる。			○	◎
スペイン語Ⅳ(読解) B134-149-22	スペイン語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲを学んだ学生に向けた授業。比較表現や命令形など、幅広い種類の文章に慣れる。	辞書を使ってやや長い文章が理解できるようになる。			○	◎
スペイン語Ⅲ(表現) B134-149-31	スペイン語Ⅰ、Ⅱを学んだ学生に向けた授業。過去や未来の時制といった中級程度の内容を学ぶ。	あらゆる時制を使いこなし、自分の気持ちのある程度自由に表現できるようになる。			○	◎
スペイン語Ⅳ(表現) B134-149-32	スペイン語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲを学んだ学生に向けた授業。比較表現や命令形など、表現の幅を広げていく。	辞書を使いながら、大きな支障なくコミュニケーションが取れるようになる。			○	◎
スペイン語Ⅲ(総合) B134-149-41	スペイン語Ⅰ、Ⅱを学んだ学生に向けた授業。過去形など中級程度の内容を学び、演習を多く行う。	会話や文字などさまざまな手段で、自分の気持ちをある程度自由に表現することができる。			○	◎
スペイン語Ⅳ(総合) B134-149-42	スペイン語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲを学んだ学生に向けた授業。命令形や反実仮想といった上級レベルの表現を学ぶ。	辞書を使えば大きな支障なく相手とスムーズなやり取りができる。			○	◎
スペイン語会話Ⅰ B134-149-51	先生や学生どうしでのコミュニケーションを通して、正しい発音を身につけつつ挨拶など基礎的な表現を学ぶ。	挨拶、簡単な自己紹介、日常の動作といった基本的な表現を覚え、簡単なコミュニケーションが取れるようになる。			○	◎
スペイン語会話Ⅱ B134-149-52	スペイン語会話Ⅰを履修した学生を対象に、嗜好や予定などさらにバリエーション豊かな表現を学ぶ。	繰り返し練習を重ね、辞書を使ってさらに複雑なコミュニケーションが取れるようになる。			○	◎
スポーツ科学Ⅰ B135-592-01	運動の実践により、生涯健康の基礎作りを目指す。運動の楽しさや健康の価値・意味を理解し自己管理能力を養う。	運動習慣の確立により肉体的、精神的、社会的な健康を獲得する。学生同士の協調性や連帯感を理解させ、豊かな人間性を高めていく。	◎			◎
スポーツ科学Ⅱ B135-592-02	運動の実践により、生涯健康の基礎作りを目指す。運動の楽しさや健康の価値・意味を理解し自己管理能力を養う。	運動習慣の確立により肉体的、精神的、社会的な健康を獲得する。学生同士の協調性や連帯感を理解させ、豊かな人間性を高めていく。	◎			◎
スポーツ科学Ⅲ B235-592-03	生涯健康の応用と発展を目的とする。運動習慣の継続と生涯健康スキルを発展させる。	趣向や目的に適した種目を選択し、個人能力に応じたレベルでスポーツ実践する。「生涯健康の理論と実践の統合」を目標とする。	◎			◎

健康科学部健康科学科 カリキュラムマップ			健康科学部健康科学科のディプロマポリシー (DP)			
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	Z-DP1	Z-DP2	Z-DP3	Z-DP4
			1. 科学的根拠に基づいた知識や指導力・実践力を持っている。	2. 社会的な健康問題に対して、自ら課題を設定し決断するために考え行動することができる。	3. コミュニケーション能力があり、協働して目標に向かうことができる。	4. 健康科学に携わる者として国際性に富んだ幅広い教養と高い倫理観を身につけている。
スポーツ科学Ⅳ B235-592-04	生涯健康の応用と発展を目的とする。運動習慣の継続と生涯健康スキルを発展させる。	趣向や目的に適した種目を選択し、個人能力に応じたレベルでスポーツ実践する。「生涯健康の理論と実践の統合」を目標とする。	◎			◎
海外事情Ⅰ B139-852-01	カナダ、オーストラリア、イギリス、アイルランド、台湾の各国の提携校でホームステイ先や学生宿舎に滞在しながら、語学力を磨いたり現地の文化を経験したりする。	渡航先の大学で開講される授業やプログラムを通して、語学力を向上させる。幅広く異文化に触れることで、多様な価値観や考え方を理解できるようになる。			○	◎
海外事情Ⅱ B139-852-02	カナダ、オーストラリア、イギリス、アイルランド、台湾の各国の提携校でホームステイ先や学生宿舎に滞在しながら、語学力を磨いたり現地の文化を経験したりする。	渡航先の大学で開講される授業やプログラムを通して、語学力を向上させる。幅広く異文化に触れることで、多様な価値観や考え方を理解できるようになる。			○	◎
海外事情Ⅲ B139-852-03	マレーシア、台湾、韓国の提携校で実施されるワークショップや文化交流に参加し、提携校の学生や各国の留学生と協力して共通の課題に向き合うことで、グローバル社会に役立つコミュニケーションと多文化共生に対する理解を深める。	研修先の学生や教員との交流を深めることで、現地の事情や文化への理解を深めることができる。研修先での国際経験を通じて、グローバル社会で活躍できる人材となる基礎を身につける。			○	◎
海外事情Ⅳ B139-852-04	マレーシア、台湾、韓国の提携校で実施されるワークショップや文化交流に参加し、提携校の学生や各国の留学生と協力して共通の課題に向き合うことで、グローバル社会に役立つコミュニケーションと多文化共生に対する理解を深める。	研修先の学生や教員との交流を深めることで、現地の事情や文化への理解を深めることができる。研修先での国際経験を通じて、グローバル社会で活躍できる人材となる基礎を身につける。			○	◎

【健康栄養学科】

健康科学部健康栄養学科 カリキュラムマップ			健康科学部健康栄養学科のディプロマポリシー (DP)				
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	X-DP1	X-DP2	X-DP3	X-DP4	X-DP5
			①栄養・食生活と健康との相互関係に関する知識を身につけている	②栄養・食品・調理に関する知識・技術を修得し、個人および集団の健康維持・増進、疾病予防を実践できる	③環境づくり(食情報・食物および食品確保・食の消費と安全など)の必要性を理解し実践できる	④疾病の予防・治療および再発を防ぐための食事栄養療法の科学的根拠に基づき説明できる	⑤栄養ケアマネジメントを実践できる
宗教学Ⅰ B111-113-01	「建学の精神」を学び、また、多様な宗教の見方・捉え方(分類法など)や、世界各地の宗教の概要・歴史を学習する。	宗教を客観的に学ぶことで高い倫理性を持った人間性を獲得し、また、世界各地の宗教を学ぶことで多様な文化・価値観を理解する。	△				
宗教学Ⅱ B111-113-02	インドで生まれた仏教・禅の教え(世界観・価値観)の基本を学び、世界各地へ伝わった歴史を学ぶ。	仏教の智慧を学ぶことで、課題発見力や問題解決力を養い、また、慈悲を学ぶことで、他者との協調性を養い、価値観の多様化した現代においても力強く生きられる柔軟性を得る。	△				
心理学Ⅰ B131-285-01	心理学は、心の営みを科学的に解明しようとする学問分野で、認知、生理、発達、教育、社会、臨床など様々な領域から成り立っている。各領域の代表的な知見に触れながら、基本的な心の仕組みと働きを学ぶ。	様々な実証的研究知見に基づき、心の仕組みや働きを理解し、自己の心の働きや行動について内省したり、自己や他者の心の働きに関心向けたりすることにより、良好な人間関係を構築できるようになること。			△		△
心理学Ⅱ B131-285-02	心理学は、心の営みを科学的に解明しようとする学問分野で、認知、生理、発達、教育、社会、臨床など様々な領域から成り立っている。各領域の代表的な知見に触れながら、基本的な心の仕組みと働きを学ぶ。	様々な実証的研究知見に基づき、心の仕組みや働きを理解し、自己の心の働きや行動について内省したり、自己や他者の心の働きに関心向けたりすることにより、良好な人間関係を構築できるようになること。			△		△
哲学Ⅰ B131-111-01	哲学史、倫理学、社会哲学、科学哲学、等々、哲学という広範な学問領域の中から分野を絞り込んで概説する。各々の分野を通して、哲学という学問一般に特徴的な思考様式や方法論の理解・習得を目指す。	言葉＝ロゴスによる説得という哲学的な思考様式の特徴を理解すると同時に、その思考様式を身の周りの具体的な問題に適用できる応用力を養う。				△	
哲学Ⅱ B131-111-02	哲学史、倫理学、社会哲学、科学哲学、等々、哲学という広範な学問領域の中から分野を絞り込んで概説する。各々の分野を通して、哲学という学問一般に特徴的な思考様式や方法論の理解・習得を目指す。	言葉＝ロゴスによる説得という哲学的な思考様式の特徴を理解すると同時に、その思考様式を身の周りの具体的な問題に適用できる応用力を養う。				△	
論理学Ⅰ B131-111-11	現代記号論理学を中心に、命題論理と述語論理の基礎を学ぶと同時に、それを一つの素地にして形成された言語哲学やクリティカル・シンキングといった、発展的・実践的分野についても一定の理解を得る。	命題論理と述語論理の基本となる考え方を学んで、人間の思考における論理の役割を理解すると同時に、問題演習等を通して論理的な推論実践の技術を磨く。			○	○	
論理学Ⅱ B131-111-12	現代記号論理学を中心に、命題論理と述語論理の基礎を学ぶと同時に、それを一つの素地にして形成された言語哲学やクリティカル・シンキングといった、発展的・実践的分野についても一定の理解を得る。	命題論理と述語論理の基本となる考え方を学んで、人間の思考における論理の役割を理解すると同時に、問題演習等を通して論理的な推論実践の技術を磨く。			○	○	
文学Ⅰ B131-135-01	日本語・日本文学について歴史的・文化的・社会的側面から解説し、様々な言語事象の背後にある原理や、古今の文学作品に描かれている諸問題について、受講生が新たな視点で理解できるよう指導する。	日本語・日本文学に関する基礎学力、日本文化をはじめとする多様なものごとを論理的に分析する力、多様な文化及び価値観について自発的に課題を立てて考える力、を修得することを目標とする。	△				
文学Ⅱ B131-135-02	日本語・日本文学について歴史的・文化的・社会的側面から解説し、様々な言語事象の背後にある原理や、古今の文学作品に描かれている諸問題について、受講生が新たな視点で理解できるよう指導する。	日本語・日本文学に関する基礎学力、日本文化をはじめとする多様なものごとを論理的に分析する力、多様な文化及び価値観について自発的に課題を立てて考える力、を修得することを目標とする。	△				
美術Ⅰ B-131-116-01	美術の歴史、人物、環境等を通し現代社会の美術の見方、考え方を学び美術の基本姿勢を修得させていく。	美術の基本的な姿勢や見方を修得する。個々の美術観を築き表現法を見出ししていく。	△				
美術Ⅱ B131-116-02	美術の基本理念に基づき多様に広がる美術事情を探り自己の美意識を広げ表現力を高めていく。	美術の理念を深め自己の造形に表現力を加え、美術の基礎の確立を計る。	△				

健康科学部健康栄養学科 カリキュラムマップ			健康科学部健康栄養学科のディプロマポリシー (DP)				
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	X-DP1	X-DP2	X-DP3	X-DP4	X-DP5
			①栄養・食生活と健康との相互関係に関する知識を身につけている	②栄養・食品・調理に関する知識・技術を修得し、個人および集団の健康維持・増進、疾病予防を実践できる	③環境づくり(食情報・食物および食品確保・食の消費と安全など)の必要性を理解し実践できる	④疾病の予防・治療および再発を防ぐための食事栄養療法の科学的根拠に基づき説明できる	⑤栄養ケアマネジメントを実践できる
法学Ⅰ B131-211-01	法学全般の基礎、及び憲法の基礎について講義する。	法学全般に通じる基本原理、及び憲法の基本原理を理解する。		△	△		
法学Ⅱ B131-211-02	民法の基礎について講義する。	民法の基本原理を理解する。	△				
政治学Ⅰ B131-222-01	民主主義・自由主義などの原理、執政制度・選挙制度などの政治制度を学ぶ。	政治の基本的原理や制度を理解する。	△				
政治学Ⅱ B131-222-02	日米英独仏など各国の政治を比較して学ぶ。国際政治の仕組みについて学ぶ。	各国政治および国際政治の基本を理解する。	△				
経済学Ⅰ B131-231-01	経済学の基礎概念をミクロ経済学で扱うトピックスを中心に概説する。	ミクロ経済学の基本的な概念を理解し、ミクロ経済学的に経済事象を論じることができるような基礎的能力を身につける。	△				
経済学Ⅱ B131-231-02	経済学の基礎概念をマクロ経済学で扱うトピックスを中心に概説する。	マクロ経済学の基本的な概念を理解し、マクロ経済学的に経済事象を論じることができるような基礎的能力を身につける。	△				
社会学Ⅰ B131-261-01	本講義は、具体例を挙げながら、社会学が考えてきたこと、明らかにしてきたことを確認し、社会学の概念や方法を理解していきます。また、それらの知識を用いて、現代社会の諸課題についても考えます。	社会学の「問い」、「概念」、「方法」を理解すること。そして、社会学的思考を用いて、自ら現代社会の諸課題の様相について説明できるようになること。	△		△		
社会学Ⅱ B131-261-02	本講義は、社会階層、文化集団、コミュニティ等を取り上げ、社会学的な視点からそれらの集団の特徴を理解していきます。そして各集団と現代社会の諸課題の関連についても考えていきます。	各集団の特徴を理解すること。そして、現代社会の諸課題が各集団のなかでなぜ発生し、どのように顕在化していくのかについて説明できるようになること。	△		△		
教育学Ⅰ B131-271-01	教育学は、人がよりよく生きるために欠かせない「教育」を対象とする学問である。その特徴は哲学、歴史学、社会学、行政学などの学問を基礎とした学際的な性格にあり、本授業では教育を様々な角度から考察する。	教育学の基礎的知識や概念を理解できるとともに、その基礎知識や概念を活用して現代の教育状況について多面的に考察でき、さらに自らが社会の形成者として教育についての意見を持つことができることを目指す。	△				△
教育学Ⅱ B131-271-02	教育学は、人がよりよく生きるために欠かせない「教育」を対象とする学問である。その特徴は哲学、歴史学、社会学、行政学などの学問を基礎とした学際的な性格にあり、本授業では教育を様々な角度から考察する。	教育学の基礎的知識や概念を理解できるとともに、その基礎知識や概念を活用して現代の教育状況について多面的に考察でき、さらに自らが社会の形成者として教育についての意見を持つことができることを目指す。	△				△
歴史学Ⅰ B131-161-01	文献資料や映像資料を駆使して、日本及び外国の歴史に関する講義を行っている。また受講生に対して、授業内では講義内容に関する感想を書かせたり、定期試験では主に論述問題を課したりしている。	歴史における文化の形成を広い視野に立って考察することによって、歴史的思考力を培い、日本や外国の成立の歴史的過程と特質を把握させて、近代市民としての自覚を深める。			△		
歴史学Ⅱ B131-161-02	文献資料や映像資料を駆使して、日本及び外国の歴史に関する講義を行っている。また受講生に対して、授業内では講義内容に関する感想を書かせたり、定期試験では主に論述問題を課したりしている。	歴史における文化の形成を広い視野に立って考察することによって、歴史的思考力を培い、日本や外国の成立の歴史的過程と特質を把握させて、近代市民としての自覚を深める。			△		
地理学Ⅰ B131-181-01	地理学の基礎的な知識を、国内外の社会の中にみられる具体的な実例を挙げながら紹介する。社会や自然を構成する多様な要素を取り上げ、それらの相互関係や、分布の差異を示すことで、地理学的なもののとらえ方を身につける。	社会の中にみられる諸現象を地理学的な観点から説明することができる。世界あるいは日本の中にみられる多様性と地域性について理解することができる。			△		

健康科学部健康栄養学科 カリキュラムマップ			健康科学部健康栄養学科のディプロマポリシー (DP)				
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	X-DP1	X-DP2	X-DP3	X-DP4	X-DP5
			①栄養・食生活と健康との相互関係に関する知識を身につけている	②栄養・食品・調理に関する知識・技術を修得し、個人および集団の健康維持・増進、疾病予防を実践できる	③環境づくり(食情報・食物および食品確保・食の消費と安全など)の必要性を理解し実践できる	④疾病の予防・治療および再発を防ぐための食事栄養療法のについて、科学的根拠に基づき説明できる	⑤栄養ケアマネジメントを實踐できる
地理学Ⅱ B131-181-02	地理学が扱う多様な課題の中から特定のものを取り上げ、その問題を関連する事象とともに追究する。このことによって、取り上げる課題についての理解を深めるとともに、地理学的なもののとらえ方についても深化させる。	取り上げる地理学的課題についての基礎的な知識事項を述べるができる。取り上げる地理学的課題を通じて、世界・日本の社会・自然のあり方について、論理的な考察が行えるようになる。			△		
数学Ⅰ B131-323-01	数学の問題を解くことを通して、数学的な手法と論理的思考を学ぶ。	社会で生きていく上で必要な数学的手法と論理的思考の習得を到達目標とする。		△		△	△
数学Ⅱ B131-323-02	数学の問題を解くことを通して、より進んだ数学的な手法と論理的思考を学ぶ。	社会で生きていく上で必要な、より進んだ数学的手法と論理的思考の習得を到達目標とする。		△		△	△
統計学Ⅰ B131-603-01	統計の問題を解くことを通して、統計的な手法と統計的な論理的思考を学ぶ。	社会生活に役立つ統計的手法と統計的な論理的思考の習得を到達目標とする。				△	
統計学Ⅱ B131-603-02	統計の問題を解くことを通して、より進んだ統計的な手法と統計的な論理的思考を学ぶ。	社会生活に役立つ、より進んだ統計的手法と統計的な論理的思考の習得を到達目標とする。				△	
物理学Ⅰ B131-420-01	身近な現象を題材にして、生活や社会に密接に関わっている「物理」を学ぶ。	なぜ?という疑問を持ち、それを解決するために論理的に考える力を身につける。				△	
物理学Ⅱ B131-420-02	身近な現象を題材にして、生活や社会に密接に関わっている「物理」を学ぶ。	なぜ?という疑問を持ち、それを解決するために論理的に考える力を身につける。				△	
化学Ⅰ B111-420-11	健康栄養学科の化学系科目を理解するための基礎学習	原子の構造、濃度、酸塩基等が理解できること。	◎				
化学Ⅱ B131-420-12	化学の基礎を学びながら、日常生活に関わる身の回りの物質を化学的立場から捉え、化学が果たしている役割を考えます。「なぜこうなるの?」といった好奇心から出発して、化学の面白さを伝えます。	素朴な疑問をもとに、文系の学生にとっての化学に対する苦手意識を軽減します。化学的なモノの考え方を修得し、科学リテラシーや論理的思考力を身につけることを目標とします。	◎	○			
生物学Ⅰ B111-420-21	われわれヒトを含む動物の体のしくみを分子レベル、細胞レベル、全身(生体システム)レベルで学び、生命活動の基本原則と様々な生物学的基本概念を理解する。	単に生物学の基礎知識を身に付けるだけでなく、得た知識を使って自分や他の生物の体内で起きていることを人に説明できるようにする。	◎	○			
生物学Ⅱ B131-420-22	身近なできごとやさまざまな社会問題と生物学の関わりを知り、生物を理解するために必要な教養レベルでの基礎的知識と概念を学ぶ。	社会生活の中で直面する様々な医療問題や環境問題などを正しく理解し、また自分で考えるために必要な基礎的な生物学的知識を身につける。	◎	○	△		
情報科学Ⅰ B111-601-01	コンピュータを扱うことを通して、コンピュータとネットワークの知識を習得する。	社会生活に役立つコンピュータとネットワークの知識と、その倫理的問題点の習得を到達目標とする。				△	△
情報科学Ⅱ B131-601-02	コンピュータを扱うことを通して、コンピュータとネットワークのより進んだ知識を習得する。	社会生活に役立つより進んだコンピュータとネットワークの知識と、その倫理的問題点の習得を到達目標とする。				△	△
情報科学Ⅲ B131-601-03	コンピュータを通して、データサイエンスに関してリテラシーレベルよりも一歩進んだ知識を習得する。	データサイエンスに関して、リテラシーレベルよりも一歩進んだ知識と、その倫理的問題点の習得を到達目標とする。				△	△
情報科学Ⅳ B131-601-04	コンピュータを通して、データサイエンスに関してより進んだ知識を習得する。	データサイエンスに関して、より進んだ知識と、その倫理的問題点の習得を到達目標とする。				△	△
仏教と現代社会Ⅰ B231-112-01	現代社会の諸問題に関する仏教からの提言	仏教的価値観を対立軸として、現代社会の価値観や諸課題を考える力を育てる。	△				
仏教と現代社会Ⅱ B231-112-02	現代社会の諸問題に関する仏教からの提言	仏教的価値観を対立軸として、現代社会の価値観や諸課題を考える力を育てる。	△				
禅と人間Ⅰ B231-112-11	禅の概要および禅宗の特徴を概説し、禅語(公案)を通じて禅の思想を解説するとともに、坐禅の実習によって禅の修行を体感する。	坐禅や公案の学習などの禅の修行生活の重要な要素を通じて、禅の本質を理解する。	○				

健康科学部健康栄養学科 カリキュラムマップ			健康科学部健康栄養学科のディプロマポリシー (DP)				
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	X-DP1	X-DP2	X-DP3	X-DP4	X-DP5
			①栄養・食生活と健康との相互関係に関する知識を身につけている	②栄養・食品・調理に関する知識・技術を修得し、個人および集団の健康維持・増進、疾病予防を実践できる	③環境づくり(食情報・食物および食品確保・食の消費と安全など)の必要性を理解し実践できる	④疾病の予防・治療および再発を防ぐための食事栄養療法の科学的根拠に基づき説明できる	⑤栄養ケアマネジメントを実践できる
禅と人間Ⅱ B231-112-12	中国および日本における禅宗の歴史や思想を概説し、禅の影響のもと成立した茶道・絵画・建築・陶磁器・書などの日本独自文化を解説する。	禅と日本文化との関係を具体的に理解し、禅によって培われた日本独自の美意識や感性を体得する。	○				
生命に関する諸問題Ⅰ B231-118-01	「生と死」という解決し難い古来からのテーマについて、自然・人文・社会科学などの多様な視点・観点からアプローチする。	総合的に問題を捉えて解決したり、創造性を持って新たな課題を見出したりする力をつける。自分なりの「生命観」・「人生観」・「死生観」を築く。	○		△		
生命に関する諸問題Ⅱ B231-118-02	「生と死」という解決し難い古来からのテーマについて、自然・人文・社会科学などの多様な視点・観点からアプローチする。	総合的に問題を捉えて解決したり、創造性を持って新たな課題を見出したりする力をつける。自分なりの「生命観」・「人生観」・「死生観」を築く。	○		△		
人間行動の理解Ⅰ B231-285-01	心理学で扱う理論や事象は実験や調査で得られたデータに基づいている。本講義では、実際に実験を行い、仮説検証の考え方からデータの収集方法、結果の解釈に至るまで、心理学の基本的な方法論について理解を深める。	心の仕組みや働きを明らかにするための様々な方法論を理解したうえで、科学的な手続きと正確なデータ収集の重要性を認識し、さらにそれらをまとめて論理的な報告書の作成ができるようになること。				△	
人間行動の理解Ⅱ B231-285-02	フロイトの精神分析の口語版といわれる「交流分析」の理論と実践について学ぶ。交流分析は、パーソナリティ理論やコミュニケーション理論を含む心理療法のひとつであり、自己洞察を繰り返すことで、より良い人間関係と自己の生き方を築くことを目指す。	自己理解と他者理解を深め、よりよいコミュニケーションと自己の問題点の把握と改善へつなげること。		△			△
人間の尊厳と平等Ⅰ B231-261-01	本授業では、これまでに人間社会が形成してきた人権について、様々な歴史的事例や条文などの学びを通して、人権の基礎を習得する。	人権の成立過程や現代における課題を学び、一人一人の人間性を尊重し、他者と協調できるようになる。また、差別について批判的精神を養う。	△				
人間の尊厳と平等Ⅱ B231-261-02	本授業では、社会福祉の成立過程を学びながら、「福祉国家」や「社会福祉事業」への理解を深め、社会福祉の基礎を習得する。	社会福祉の学びを通して、一人一人の人間性を尊重し、多様な価値観を理解できるようになる。そして、自ら社会貢献が積極的に可能になることを目指す。	△				
日本の文化と社会Ⅰ B231-162-01	日本の歴史・文学・ことばを中心に、人々がそれらの事象とどのように関わってきたのか、どのような変化をとげてきたのか、を学ぶ。	科学的な探究の精神に基づいて、日本における、社会と文化と人間に対する理解を深め、複眼の視座を涵養する。	○				
日本の文化と社会Ⅱ B231-162-02	日本の歴史・文学・ことばを中心に、人々がそれらの事象とどのように関わってきたのか、どのような変化をとげてきたのか、を学ぶ。	科学的な探究の精神に基づいて、日本における、社会と文化と人間に対する理解を深め、複眼の視座を涵養する。	○				
アジアの文化と社会Ⅰ B231-163-01	文献資料や映像資料を駆使して、中国の芸能・小説などの伝統文化、及び近現代の政治・社会史に関する講義を行う。また定期試験などを通して受講生に論述の機会を設けている。	日本人にとって「他者」である中国を多面的に理解することを目指す。その上で、筋道を立てた論述能力や課題発見力、問題解決力を涵養することを目指す。	△				
アジアの文化と社会Ⅱ B231-163-02	文献資料や映像資料を駆使して、中国の芸能・小説などの伝統文化、及び近現代の政治・社会史に関する講義を行う。また定期試験などを通して受講生に論述の機会を設けている。	日本人にとって「他者」である中国を多面的に理解することを目指す。その上で、筋道を立てた論述能力や課題発見力、問題解決力を涵養することを目指す。	△				
ヨーロッパの文化と社会Ⅰ B231-165-01	ヨーロッパの思想・文化の理解	ヨーロッパ諸国の事例を学習することで、未来の日本社会構築の参考にする。	△				
ヨーロッパの文化と社会Ⅱ B231-165-02	ヨーロッパの思想・文化の理解	ヨーロッパ諸国の事例を学習することで、未来の日本社会構築の参考にする。	△				

健康科学部健康栄養学科 カリキュラムマップ			健康科学部健康栄養学科のディプロマポリシー (DP)				
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	X-DP1	X-DP2	X-DP3	X-DP4	X-DP5
			①栄養・食生活と健康との相互関係に関する知識を身につけている	②栄養・食品・調理に関する知識・技術を修得し、個人および集団の健康維持・増進、疾病予防を実践できる	③環境づくり(食情報・食物および食品確保・食の消費と安全など)の必要性を理解し実践できる	④疾病の予防・治療および再発を防ぐための食事栄養療法の科学的根拠に基づき説明できる	⑤栄養ケアマネジメントを実践できる
英語圏の文化と社会Ⅰ B231-804-01	英語圏の文化的な側面と社会的な側面について講義	英語圏の文化や英語の使用における社会的な背景について理解できる。	△				
英語圏の文化と社会Ⅱ B231-804-02	英語圏の文化的な側面と社会的な側面について講義	英語圏の文化や英語の使用における社会的な背景について理解して説明できる。	△				
人間と環境Ⅰ B231-646-01	社会・地球・自然・食など様々な角度から人間と環境の関わりについて学んでゆきます。	人間をとりまく種々の環境についての正しい知識を学び、玉石混淆の情報から正しい情報を読み解く力を身につけることができる。	◎		△		
人間と環境Ⅱ B231-646-02	社会・地球・自然・食など様々な角度から人間と環境の関わりについて学んでゆきます。	人間をとりまく種々の環境についての正しい知識を学び、玉石混淆の情報から正しい情報を読み解く力を身につけることができる。	◎		△		
情報と社会Ⅰ B231-622-01	ネットワーク社会における情報の扱い方と倫理的問題点を習得する。	ネットワーク社会における情報の扱い方と倫理的問題点の習得を到達目標とする。			△	△	
情報と社会Ⅱ B231-622-02	ネットワーク社会におけるより進んだ情報の扱い方と倫理的問題点を習得する。	ネットワーク社会におけるより進んだ情報の扱い方と倫理的問題点の習得を到達目標とする。			△	△	
産業と科学Ⅰ B231-118-01	生活に関連した産業と科学技術に関する話題を、複数の視点から多角的に分析し、解説する。	産業と科学技術に関する知識を学び、それを生かして生活における諸問題に対処できるような柔軟な思考力を身につける。	△		△		
産業と科学Ⅱ B231-118-02	生活に関連した産業と科学技術に関する話題を、複数の視点から多角的に分析し、解説する。	産業と科学技術に関する知識を学び、それを生かして生活における諸問題に対処できるような柔軟な思考力を身につける。	△		△		
ソフトウェア概論Ⅰ B231-605-01	コンピュータ・プログラミングの課題を解くことを通して、コンピュータの多様な使い方を習得する。	コンピュータ・プログラミングとコンピュータの多様な使い方の習得を到達目標とする。				△	
ソフトウェア概論Ⅱ B231-605-02	コンピュータ・プログラミングの課題を解くことを通して、より進んだコンピュータの多様な使い方を習得する。	より進んだコンピュータ・プログラミングとコンピュータの多様な使い方の習得を到達目標とする。				△	
英語Ⅰa B114-141-01	英語のリスニングと英会話を中心とした授業	基礎的な英語表現の聞き取りと基礎的な会話表現ができる。	○				△
英語Ⅱa B114-141-02	英語のリスニングと英会話を中心とした授業	少し発展的な英語表現の聞き取りと会話表現ができる。	○				△
英語Ⅰb B114-141-03	英語の読解を中心とした総合演習	基礎的な英文を読んで内容が理解できる。	○				
英語Ⅱb B114-141-04	英語の読解を中心とした総合演習	少し発展的な英文を読んで内容が理解できる。	○				
英語Ⅰc B134-141-05	英作文・英文法を中心とした総合英語	基礎的な英文を書いて自己表現ができる。	○				
英語Ⅱc B134-141-06	英作文・英文法を中心とした総合英語	少し発展的な英文を書いて自己表現ができる。	○				
ドイツ語Ⅰ(基礎) B134-145-11	ドイツ語の基礎力養成	基本的なドイツ語構造の理解	△				
ドイツ語Ⅱ(基礎) B134-145-12	ドイツ語の基礎力養成	基本的なドイツ語構造の理解	△				
中国語Ⅰ(基礎) B134-147-11	発音の習得から始めて、入門時に必要とされる常用単語及び初歩的な文型を学び、未習外国語である中国語の学習の基礎を固める。常に双方向の授業を心がけ、中国語運用能力の基礎を作る。	中国語の発音を習得し、中国語のローマ字表記を読めるようにする。併せて、初歩的な常用単語及び初歩的な文型を習得し、簡単な中国語を使えるようにする。	△				
中国語Ⅱ(基礎) B134-147-12	中国語Ⅰで学んだ中国語の基礎の上にさらにステップアップを目指す。発音の習熟度をより高め、語彙及び理解でき、かつ使用できる文型を増やすことによって、中国語の運用能力を高める。	中国語の発音をより確実なものにし、より多くの常用語彙、重要文型を学び、中国語の構造に対する理解を深め、初歩的な中国語運用能力を身につけるようにする。	△				

健康科学部健康栄養学科 カリキュラムマップ			健康科学部健康栄養学科のディプロマポリシー (DP)				
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	X-DP1	X-DP2	X-DP3	X-DP4	X-DP5
			①栄養・食生活と健康との相互関係に関する知識を身につけている	②栄養・食品・調理に関する知識・技術を修得し、個人および集団の健康維持・増進、疾病予防を実践できる	③環境づくり(食情報・食物および食品確保・食の消費と安全など)の必要性を理解し実践できる	④疾病の予防・治療および再発を防ぐための食事栄養療法の科学的根拠に基づき説明できる	⑤栄養ケアマネジメントを実践できる
フランス語Ⅰ(基礎) B134-146-11	綴りと音の関係を理解し、フランス語文の音読を可能にする。基本文型を暗記し、フランス語のリズムを覚える。	フランス語文を単独で音読できるようにし、挨拶や買い物などの簡単な日常会話に慣れる。	△				
フランス語Ⅱ(基礎) B134-146-12	人称の概念を理解し、基本動詞の活用を学習する。辞書を利用して平易なフランス語文を訳読し、暗記する。	会話文や説明文を、辞書を用いて単独で読解する。人物の会話から、フランス人の基本となる物の考え方を理解する。	△				
韓国語Ⅰ(基礎) B134-148-11	初めて学ぶ人を対象に韓国語に関する基礎知識と運用力を養成する科目である。韓国語の文字と発音を始めとし、日常生活で使える簡単な会話を学習することとする。	「読む、書く、聞く、話す」の4機能を総合的に学習し、韓国語の基本的な構造について理解することを目標とする。	△				
韓国語Ⅱ(基礎) B134-148-12	初めて学ぶ人を対象に韓国語に関する基礎知識と運用力を養成する科目である。韓国語の文字と発音を始めとし、日常生活で使える簡単な会話を学習することとする。	「読む、書く、聞く、話す」の4機能を総合的に学習し、韓国語の基本的な構造について理解することを目標とする。	△				
スペイン語Ⅰ(基礎) B134-149-11	初めて学ぶ人を対象にグローバル言語の1つであるスペイン語に関する基礎知識と運用力を養成する科目である。スペイン語の常用単語及び初歩的な文型を学び日常生活で使える簡単な会話を学習することとする。	スペイン語の常用単語及び初歩的な文型を習得し、簡単な日常会話を使えるようにする。	△				
スペイン語Ⅱ(基礎) B134-149-12	スペイン語Ⅰ(基礎)で学んだスペイン語のさらなるステップアップを目指す。単語の理解や発音の習熟度をより高め、かつ使用できる文型を増やすことによって、スペイン語の運用能力を高める。	スペイン語の発音をより確実なものにし、多くの常用単語、重要文型を学び、初歩的なスペイン語運用能力を身につける。	△				
日本語Ⅰa B114-139-01	高度な文法力や読解力を身につけることを目的に論理的な文章を読む。	論理的な文章が読めるようになる。また、教材を通して日本社会への理解を深めることができる。	◎				△
日本語Ⅱa B114-139-02	読解力を向上させるために、論理的な文章だけでなく、エッセイなども取り上げて読む。	様々なタイプの文章を、一人で読めるようになる。また、内容に関して意見や感想をまとめることができる。	◎				△
日本語Ⅰb B114-139-03	日本語の聴解、会話、口頭発表を扱う。	留学生活に必要な聴解力・会話力を身につけ、わかりやすい発表ができるようになる。	◎			○	
日本語Ⅱb B114-139-04	日本語の聴解、会話、口頭発表を扱う。	日本社会で起きている話題について聴き取り、資料を基に論理的に意見が述べられるようになる。	◎			○	
日本語Ⅰc B114-139-05	論理的な文章をわかりやすく書くための基礎的な技法を学ぶ。	事実と自分の考えとを書き分ける力、資料に基づいて自分の考えを書き進める力などを身につけることができる。	◎		○	○	
日本語Ⅱc B114-139-06	関心のあるテーマについて問題を見出し、資料を用いてその答えをレポートとしてまとめる。	レポートを書くことを通して、読み・書きの高度な日本語力を身につけることができる。	◎				
英会話Ⅰ B134-141-11	外国人教員による英会話演習	簡単な英会話で自己表現ができる。	○				
英会話Ⅱ B134-141-12	外国人教員による英会話演習	少し発展的な内容の英会話で自己表現ができる。	○				
英会話Ⅲ B234-141-21	外国人教員による発展的英会話演習	日常的な内容の英会話で自己表現ができる。	○				
英会話Ⅳ B234-141-22	外国人教員による発展的英会話演習	発展的な様々な内容の英会話で自己表現ができる。	○				
メディア英語Ⅰ B134-141-17	ビデオや映画等のメディアを使った英語演習	映画やニュースなどで基本的な表現が理解できる。	△				
メディア英語Ⅱ B134-141-18	ビデオや映画等のメディアを使った英語演習	映画やニュースなどで少し発展的な表現が理解できる。	△				

健康科学部健康栄養学科 カリキュラムマップ			健康科学部健康栄養学科のディプロマポリシー (DP)				
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	X-DP1	X-DP2	X-DP3	X-DP4	X-DP5
			①栄養・食生活と健康との相互関係に関する知識を身につけている	②栄養・食品・調理に関する知識・技術を修得し、個人および集団の健康維持・増進、疾病予防を実践できる	③環境づくり(食情報・食物および食品確保・食の消費と安全など)の必要性を理解し実践できる	④疾病の予防・治療および再発を防ぐための食事栄養療法の科学的根拠に基づき説明できる	⑤栄養ケアマネジメントを実践できる
メディア英語Ⅲ B234-141-27	ビデオや映画等のメディアを使った発展的英語演習	映画やニュースなどで多くの表現をそのまま理解できる。	△				
メディア英語Ⅳ B234-141-28	ビデオや映画等のメディアを使った発展的英語演習	映画やニュースなどで発展的な内容がそのまま理解できる。	△				
英語表現法Ⅰ B134-141-15	英作文や会話などの英語による自己表現演習	基礎的な英語を使って自己表現ができる。	○				
英語表現法Ⅱ B134-141-16	英作文や会話などの英語による自己表現演習	少し発展的な英語を使って自己表現ができる。	○				
英語表現法Ⅲ B234-141-25	英作文や会話などの英語による発展的自己表現演習	英語表現を使って自分の意見や考えを表現できる。	○				
英語表現法Ⅳ B234-141-26	英作文や会話などの英語による発展的自己表現演習	少し発展的な英語表現を使って自分の意見や考えを表現できる。	○				
英語読解法Ⅰ B134-141-13	様々な英文を読んで理解する読解演習	辞書を使って、自分で様々な英文の内容が理解できる。	○				
英語読解法Ⅱ B134-141-14	様々な英文を読んで理解する読解演習	辞書を使って、自分で少し発展的な英文の内容が理解できる。	○				
英語読解法Ⅲ B234-141-23	発展的な英文を読んで理解する読解演習	辞書を使って、様々な英文の内容が理解できる。	○				
英語読解法Ⅳ B234-141-24	発展的な英文を読んで理解する読解演習	辞書を使って、様々な発展的な英文の内容が理解できる。	○				
実践英語Ⅰ B134-141-31	TOEIC等の検定試験対策の演習	TOEIC等の検定試験で基礎的な問題の解答ができる。	○				
実践英語Ⅱ B134-141-32	TOEIC等の検定試験対策の演習	TOEIC等の検定試験で少し発展的な問題の解答ができる。	○				
実践英語Ⅲ B234-141-41	TOEIC等の検定試験対策の発展的演習	TOEIC等の検定試験で発展的な問題の解答ができる。	○				
実践英語Ⅳ B234-141-42	TOEIC等の検定試験対策の発展的演習	TOEIC等の検定試験で少し高度な問題の解答ができる。	○				
ドイツ語Ⅲ(読解) B234-145-21	中級ドイツ語能力養成	ドイツ語の読解力強化	△				
ドイツ語Ⅳ(読解) B234-145-22	中級ドイツ語能力養成	ドイツ語の読解力強化	△				
ドイツ語Ⅲ(表現) B234-145-31	中級ドイツ語能力養成	ドイツ語の表現力(作文力)強化	△				
ドイツ語Ⅳ(表現) B234-145-32	中級ドイツ語能力養成	ドイツ語の表現力(作文力)強化	△				
ドイツ語Ⅲ(総合) B234-145-41	中級ドイツ語能力養成	中級のテキストを用いたドイツ語の運用能力強化	△				
ドイツ語Ⅳ(総合) B234-145-42	中級ドイツ語能力養成	中級のテキストを用いたドイツ語の運用能力強化	△				
ドイツ語会話Ⅰ B234-145-51	中級ドイツ語能力養成	ドイツ語の会話能力の養成	△				
ドイツ語会話Ⅱ B234-145-52	中級ドイツ語能力養成	ドイツ語の会話能力の養成	△				
中国語Ⅲ(読解) B234-147-21	1年次に習得した中国語を基礎に、簡単な文章を読むことによって中国語の文法構造等に対する理解を深め、中国語の読解力をレベルアップして資格取得などに役立てる。	300語程度の常用単語を身につけ、中国語の文法構造に対する理解を深め、中国語の文章の読解力を高める。併せて、中国政府公認の中国語検定試験HSK2級の合格を目指す。	△				
中国語Ⅳ(読解) B234-147-22	中国語Ⅲ(読解)を受けて、様々な文章を読むことによって、中国語の文法構造等に対する理解をさらに深め、中国語の読解力をさらにレベルアップして資格取得などに役立てる。	600語程度の常用単語を身につけ、中国語の文法構造に対する理解を深め、中国語の文章の読解力を高める。併せて、中国政府公認の中国語検定試験HSK3級の合格を目指す。	△				

健康科学部健康栄養学科 カリキュラムマップ			健康科学部健康栄養学科のディプロマポリシー (DP)				
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	X-DP1	X-DP2	X-DP3	X-DP4	X-DP5
			①栄養・食生活と健康との相互関係に関する知識を身につけている	②栄養・食品・調理に関する知識・技術を修得し、個人および集団の健康維持・増進、疾病予防を実践できる	③環境づくり(食情報・食物および食品確保・食の消費と安全など)の必要性を理解し実践できる	④疾病の予防・治療および再発を防ぐための食事栄養療法の科学的根拠に基づき説明できる	⑤栄養ケアマネジメントを実践できる
中国語Ⅲ(表現) B234-147-31	1年次に習得した中国語を基礎に、中国語の様々な表現を学んで中国語作文の練習をすることによって、中国語の文法構造等に対する理解を深め、中国語の表現力をレベルアップして資格取得などに役立てる。	300語程度の常用単語を身につけ、中国語の文法構造に対する理解を深め、中国語の表現力を高める。併せて、中国政府公認の中国語検定試験HSK 2級の合格を目指す。	△				
中国語Ⅳ(表現) B234-147-32	中国語Ⅲ(読解)を受けて、中国語の様々な表現を学んで中国語作文の練習をすることによって、中国語の文法構造等に対する理解をさらに深め、中国語の表現力をさらにレベルアップして資格取得などに役立てる。	600語程度の常用単語を身につけ、中国語の文法構造に対する理解を深め、中国語の表現力を高める。併せて、中国政府公認の中国語検定試験HSK 3級の合格を目指す。	△				
中国語Ⅲ(総合) B234-147-41	1年次に習得した中国語を基礎に、「読み、書き、聴き、話す」練習を通して、常用語を身につけ、中国語の文法構造等に対する理解を深め、中国語の運用能力をレベルアップして資格取得などに役立てる。	300語程度の常用単語を身につけ、中国語の文法構造に対する理解を深め、「読み、書き、聴き、話す」といった中国語の運用能力を全体的に高める。併せて、中国政府公認の中国語検定試験HSK 2級の合格を目指す。	△				
中国語Ⅳ(総合) B234-147-42	中国語Ⅲ(総合)を受けて、「読み、書き、聴き、話す」練習を通して、使える常用語を増やし、中国語の文法構造等に対する理解をさらに深め、中国語の運用能力をさらにレベルアップして資格取得などに役立てる。	600語程度の常用単語を身につけ、中国語の文法構造に対する理解を深め、「読み、書き、聴き、話す」といった中国語の運用能力を全体的に高める。併せて、中国政府公認の中国語検定試験HSK 3級の合格を目指す。	△				
中国語会話Ⅰ B234-147-51	発音の練習を重視し、ペアワークによる会話練習を行い、中国語の会話力を向上させる。併せて、作文と翻訳の練習も行い、中国語の総合的な運用能力を高める。	1年次で学んだ中国語の発音をより正確なものにし、あいさつなどの簡単な言葉から日常用いる初歩的な会話ができるようにする。中国政府公認の中国語検定試験HSK 2級の合格を目指す。	△				
中国語会話Ⅱ B234-147-52	中国語会話Ⅰを受け、引き続き発音練習を重視し、ペアワークによる会話をほぼ毎回行って、会話力をより向上させる。併せて作文と翻訳の練習にも力を入れ、中国語の総合的な運用能力を高める。	中国語をより正確に発音できるようにし、より多くのことを表現できるよう会話力を高める。会話力と同時に、作文能力や読解力も向上させ、中国政府公認の中国語検定試験HSK 3級の合格を目指す。	△				
フランス語Ⅲ(総合) B234-146-41	短文の反復や言い換えにより、実生活に結びついたフランス語の表現を確実に身につける。	フランスで生活するつもりになって、フランス語でフランス人に意志を伝えるつもりで、フランス語会話に集中する。	△				
フランス語Ⅳ(総合) B234-146-42	練習問題による言い換えにより、実生活に結びついたフランス語の構造を確実に身につける。	フランス語の基本的な例文を覚えると同時に、日本語からフランス語への言い換えも行えるようにする。	△				
韓国語Ⅲ(読解) B234-148-21	韓国語Ⅰ・Ⅱを履修した人を対象にし、レベルアップした基礎文法を学ぶ。コミュニケーションの訓練とともに、文法と構文の理解、表現力を身につける。また、旅行やビジネス場面でよく使われる表現を学ぶ。	韓国語の基礎文法を踏まえ、より豊かな基礎会話力を養うことを目標にする。徐々に語彙・文法項目を増やしていき、韓国語で書かれた文章に対する理解力を高める。	△				
韓国語Ⅳ(読解) B234-148-22	韓国語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲを履修した人を対象にし、中級を目指して実践的な表現を学ぶ。定型表現の学習は、ものの描写、要求・依頼・主張など様々な場面にふさわしい構文と語彙を習得し、言語運用力を養う。	中級レベルの文法や語彙を学び、韓国語としてより自然で円滑なコミュニケーションができるようにする。より豊かな言語表現力を養い、韓国語文章に対する「読む・書く」能力の上達を目標にする。	△				
韓国語Ⅲ(表現) B234-148-31	文字を覚えた学生を対象にし、授業計画に基づく韓国語の基礎知識と運用力を養成する。「読む」「書く」「聞く」「話す」の四技能をバランスよく総合的に身につけることを目指す。韓国語圏の世界の諸相を理解し、国際的な視野を広める。	韓国語の文字と発音を習った学生を対象とし、基本文の作り方を練習する。そのために、基本文法と単語の学習を行う。これに基づいて、実際の現場で使われる多様な文の構造及び会話表現の習得を目標とする。	△				

健康科学部健康栄養学科 カリキュラムマップ			健康科学部健康栄養学科のディプロマポリシー (DP)				
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	X-DP1	X-DP2	X-DP3	X-DP4	X-DP5
			①栄養・食生活と健康との相互関係に関する知識を身につけている	②栄養・食品・調理に関する知識・技術を修得し、個人および集団の健康維持・増進、疾病予防を実践できる	③環境づくり(食情報・食物および食品確保・食の消費と安全など)の必要性を理解し実践できる	④疾病の予防・治療および再発を防ぐための食事栄養療法の科学的根拠に基づき説明できる	⑤栄養ケアマネジメントを実践できる
韓国語Ⅳ(表現) B234-148-32	韓国語の文字を覚えた学生を対象にし、授業計画に基づく韓国語の基礎知識と運用力を養成する。「読む」「書く」「聞く」「話す」の四技能をバランスよく総合的に身につけることを目指す。韓国語圏の世界の諸相を理解し、国際的な視野を広める。	韓国語の文字と発音を習った学生を対象とし、基礎的な文の作り方を練習する。そのために、基本文法と基礎単語の学習を行う。実際の現場で使われる多様な文の構造及び会話表現の習得を目標とする。	△				
韓国語Ⅲ(総合) B234-148-41	韓国語Ⅰ・Ⅱを履修した学生を対象にし、ハングル検定試験5級に合格するために必要な発音の仕組み、基本文法などを学習していく。文法事項や語句、日常会話文等を繰り返し練習し、ハングル検定試験5級合格に必要な基本的な能力を身につける。	基本文法については韓国語Ⅰ・Ⅱで学習した復習から始め、ハングル検定試験5級合格のために必要な発音と文法を学び、自ら学習できるようにする。基本文法と語句、日常会話文などの反復学習を通して習得していく。また練習問題と課題を通して、その定着と更なる応用発展を図る。	△				
韓国語Ⅳ(総合) B234-148-42	ハングル検定試験5級に合格するため、基本文法、語句、日常会話文などを学習する。また11月に実施されるハングル検定試験に向けて実際の過去問を用いて練習する。適宜、試験に必要な発音や文法、語彙に関する解説を行う。	ハングル検定試験5級に合格する。あるいは5級に挑戦できる能力を身につけることを目標とする。すでに5級を取得した学生にとっても、次のステップアップにつながる足場を固める場となることを目標とする。	△				
韓国語会話Ⅰ B234-148-51	韓国語の読み書きができ、文章の作成ができるレベルに達していても、会話ができるとは限らない。ペアワークやグループワークを多く取り入れ、学んだ表現を使った会話文を用いて実際に話してみるにより、積極的に話す機会を与える。	ハングルの読み書きが確実にできるようにする。基礎的な文法を身につけ、あいさつ、自己紹介、身の回りのことについて自分の言いたいことを伝え、相手とコミュニケーションが取れるようにする。	△				
韓国語会話Ⅱ B234-148-52	韓国語の読み書きができ、文章の作成ができるレベルに達していても、会話ができるとは限らない。ペアワークやグループワークを多く取り入れ、学んだ表現を使った会話文を用いて実際に話してみるにより、積極的に話す機会を与える。	約700個の単語をもとに、初級レベルで必要な会話のスキルを身につけるようにする。その上で日本語とは異なる韓国語特有の会話の仕方を学習し、その背景にある文化についても考察できるようにする。	△				
韓国語会話Ⅲ B234-148-53	ネイティブによる発展的韓国語演習	韓国語の日常的な会話で自己表現ができる。	△				
韓国語会話Ⅳ B234-148-54	ネイティブによる発展的韓国語演習	韓国語の発展的な様々な内容の会話で自己表現ができる。	△				
スペイン語Ⅲ(読解) B134-149-21	スペイン語Ⅰ、Ⅱを学んだ学生に向けた授業。過去形などさらにレベルアップした内容を学んでいく。	さまざまな時制を含むバリエーションに富んだ文章が理解できるようになる。	△				
スペイン語Ⅳ(読解) B134-149-22	スペイン語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲを学んだ学生に向けた授業。比較表現や命令形など、幅広い種類の文章に慣れる。	辞書を使ってやや長い文章が理解できるようになる。	△				
スペイン語Ⅲ(表現) B134-149-31	スペイン語Ⅰ、Ⅱを学んだ学生に向けた授業。過去や未来の時制といった中級程度の内容を学ぶ。	あらゆる時制を使いこなす、自分の気持ちのある程度自由に表現できるようになる。	△				
スペイン語Ⅳ(表現) B134-149-32	スペイン語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲを学んだ学生に向けた授業。比較表現や命令形など、表現の幅を広げていく。	辞書を使いながら、大きな支障なくコミュニケーションが取れるようになる。	△				
スペイン語Ⅲ(総合) B134-149-41	スペイン語Ⅰ、Ⅱを学んだ学生に向けた授業。過去形など中級程度の内容を学び、演習を多く行う。	会話や文字などさまざまな手段で、自分の気持ちをある程度自由に表現することができる。	△				
スペイン語Ⅳ(総合) B134-149-42	スペイン語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲを学んだ学生に向けた授業。命令形や反実仮想といった上級レベルの表現を学ぶ。	辞書を使えば大きな支障なく相手とスムーズなやり取りができる。	△				
スペイン語会話Ⅰ B134-149-51	先生や学生どうしでのコミュニケーションを通して、正しい発音を身につけつつ挨拶など基礎的な表現を学ぶ。	挨拶、簡単な自己紹介、日常の動作といった基本的な表現を覚え、簡単なコミュニケーションが取れるようになる。	△				

健康科学部健康栄養学科 カリキュラムマップ			健康科学部健康栄養学科のディプロマポリシー (DP)				
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	X-DP1	X-DP2	X-DP3	X-DP4	X-DP5
			①栄養・食生活と健康との相互関係に関する知識を身につけている	②栄養・食品・調理に関する知識・技術を修得し、個人および集団の健康維持・増進、疾病予防を実践できる	③環境づくり(食情報・食物および食品確保・食の消費と安全など)の必要性を理解し実践できる	④疾病の予防・治療および再発を防ぐための食事栄養療法の科学的根拠に基づき説明できる	⑤栄養ケアマネジメントを実践できる
スペイン語会話Ⅱ B134-149-52	スペイン語会話Ⅰを履修した学生を対象に、嗜好や予定などさらにバリエーション豊かな表現を学ぶ。	繰り返し練習を重ね、辞書を使ってさらに複雑なコミュニケーションが取れるようになる。	△				
スポーツ科学Ⅰ B115-592-01	運動の実践により、生涯健康の基礎作りを目指す。運動の楽しさや健康の価値・意味を理解し自己管理能力を養う。	運動習慣の確立により肉体的、精神的、社会的な健康を獲得する。学生同士の協調性や連帯感を理解させ、豊かな人間性を高めていく。	○	△			
スポーツ科学Ⅱ B115-592-02	運動の実践により、生涯健康の基礎作りを目指す。運動の楽しさや健康の価値・意味を理解し自己管理能力を養う。	運動習慣の確立により肉体的、精神的、社会的な健康を獲得する。学生同士の協調性や連帯感を理解させ、豊かな人間性を高めていく。	○	△			
スポーツ科学Ⅲ B235-592-03	生涯健康の応用と発展を目的とする。運動習慣の継続と生涯健康スキルを発展させる。	趣向や目的に適した種目を選択し、個人能力に応じたレベルでスポーツ実践する。「生涯健康の理論と実践の統合」を目標とする。	○	△	△		
スポーツ科学Ⅳ B235-592-04	生涯健康の応用と発展を目的とする。運動習慣の継続と生涯健康スキルを発展させる。	趣向や目的に適した種目を選択し、個人能力に応じたレベルでスポーツ実践する。「生涯健康の理論と実践の統合」を目標とする。	○	△	△		
海外事情Ⅰ B139-852-01	カナダ、オーストラリア、イギリス、アイルランド、台湾の各国の提携校でホームステイ先や学生宿舎に滞在しながら、語学力を磨いたり現地の文化を経験したりする。	渡航先の大学で開講される授業やプログラムを通して、語学力を向上させる。幅広く異文化に触れることで、多様な価値観や考え方を理解できるようになる。	△				
海外事情Ⅱ B139-852-02	カナダ、オーストラリア、イギリス、アイルランド、台湾の各国の提携校でホームステイ先や学生宿舎に滞在しながら、語学力を磨いたり現地の文化を経験したりする。	渡航先の大学で開講される授業やプログラムを通して、語学力を向上させる。幅広く異文化に触れることで、多様な価値観や考え方を理解できるようになる。	△				
海外事情Ⅲ B139-852-03	マレーシア、台湾、韓国の提携校で実施されるワークショップや文化交流に参加し、提携校の学生や各国の留学生と協力して共通の課題に向き合うことで、グローバル社会に役立つコミュニケーションと多文化共生に対する理解を深める。	研修先の学生や教員との交流を深めることで、現地の事情や文化への理解を深めることができる。研修先での国際経験を通じて、グローバル社会で活躍できる人材となる基礎を身につける。	△				
海外事情Ⅳ B139-852-04	マレーシア、台湾、韓国の提携校で実施されるワークショップや文化交流に参加し、提携校の学生や各国の留学生と協力して共通の課題に向き合うことで、グローバル社会に役立つコミュニケーションと多文化共生に対する理解を深める。	研修先の学生や教員との交流を深めることで、現地の事情や文化への理解を深めることができる。研修先での国際経験を通じて、グローバル社会で活躍できる人材となる基礎を身につける。	△				

健康科学部健康栄養学科 カリキュラムマップ			健康科学部健康栄養学科のディプロマポリシー (DP)				
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	X-DP1	X-DP2	X-DP3	X-DP4	X-DP5
			①栄養・食生活と健康との相互関係に関する知識を身につけている	②栄養・食品・調理に関する知識・技術を修得し、個人および集団の健康維持・増進、疾病予防を実践できる	③環境づくり(食情報・食物および食品確保・食の消費と安全など)の必要性を理解し実践できる	④疾病の予防・治療および再発を防ぐための食事栄養療法について、科学的根拠に基づき説明できる	⑤栄養ケアマネジメントを實踐できる
医療福祉概論 X331-262-01	医療・福祉・介護・保健分野における役割と機能について学ぶ。	医療、福祉・介護、保健制度等の概要を理解し、社会全体の動向との関連を読みとることができるようになる。	◎		△		
健康心理学 X231-283-02	人間の心と体の健康を維持、増進、予防し、疾病を誘発する危険因子を発見し、それを防除するにはどうすべきかを学ぶ。	健康心理学の基礎的知識およびその応用領域を理解し、説明できるようになる。対象者の心理状態を把握し、適切に対応する知識・技術・コミュニケーション力を取得する。	○				
公衆衛生学 X311-583-03	公衆衛生学に関する基本的知識を得る。	各種保健統計調査や公衆衛生活動、生活環境により引き起こされる健康障害、社会保障制度などについて理解できるようになる。	◎	△		○	
公衆衛生学実習 X433-582-04	データ収集および統計処理、環境衛生測定等の手順や、得られた結果の考え方を学ぶ。	環境衛生に関する測定や疫学指標を用いた健康評価等を行い、考察することができるようになる。			○	◎	
健康管理概論 X111-583-05	生活習慣病の基本的項目および健康管理の方法等を理解する。	生活習慣病の原因、病態、治療、予防法、健康の概念・評価、健康増進の方法を個人および社会レベルで理解できるようになる。	△	○		◎	
人体構造学 X111-481-06	人体全体の構造について知識を深めていく。	正常な人体の個体としての細胞・遺伝子レベルから組織・器官レベルまで、理解する。	○			△	
生体機能学 X111-594-07	正常な人体の機能について学ぶ。	生体機能システムの相互関係を理解する。	◎			△	
人体構造機能学実験 X213-481-08	人体形態学の学びをもとに、顕微鏡を用いて組織標本を観察し、組織学の知識を深める。	人体の構成成分を組織学を通して理解し、病態の理解にも発展させる足掛かりとする。ラットの解剖により、哺乳類に共通した形態の知識を深める。生体における血圧、脈拍、心拍数、呼吸数などが変化する意義を理解する	○				
生化学総論 X111-594-09	ヒトの細胞の構造要素と構造を学び、摂取した栄養素が体内に入り細胞でどのように代謝、変換され利用させるのか理解し、個体の恒常性(ホメオスタシス)のシステムを学ぶ。	生物の基本的な単位(細胞)の構造要素である糖、脂質、アミノ酸・タンパク質の構造と機能、代謝経路について理解する。生体成分の代謝過程と栄養素との関係を理解する。個体の恒常性を維持している仕組みを理解する。	○				
生化学各論 X211-594-10	栄養学を理解するためには、ヒトの細胞の成り立ち、栄養素の代謝、およびその働きについての理解が必須である。本講義では栄養学の基礎としての生化学に主眼をおき、そのシステムを理解する。	管理栄養士に必要な栄養素の吸収、代謝、分解について理解する。ヒト生体における栄養素の機能について、分子、細胞、組織レベルで理解し、栄養指導の基礎知識を得る。	◎	○		◎	
生化学基礎実験 X213-594-11	実験の原理や方法論を学び、結果の解析をとおり、生体成分の定性、定量分析、および生体反応に関連した酵素反応について、より深く理解できるようになることを目的とする。	安全に実験を行うための知識と注意事項を学び、適切に実験が行えるようになる。結果の意味について意欲的に調査探求し、レポートの作成ができるようになる。	○				
生化学応用実験 X233-594-12	生体から構成成分を分離、精製し、基礎実験で学んだ定性、定量法がどのように利用されるのか理解する。また生化学的反応にもとづいた一般的な臨床検査の原理について学ぶ。	生体および食品の成分を同定・定量分析し、分析結果を説明できるようになる。	○				
病理学 X231-492-13	病理学の総論を学ぶ。	栄養士として臨床に役立つ内容に重点を置き、疾病に対しよりよく理解する。	◎			△	○
薬理概論 X331-474-14	医薬品や機能性を有する食品の生体に対する効果、また食品が医薬品の効果におよぼす影響について学習する。	講義で学んだ薬物の作用機構や安全な利用法、またある種の食品との併用による影響について、その機構を含め考察し、説明できることを到達目標とする。	△			△	

健康科学部健康栄養学科 カリキュラムマップ			健康科学部健康栄養学科のディプロマポリシー (DP)				
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	X-DP1	X-DP2	X-DP3	X-DP4	X-DP5
			①栄養・食生活と健康との相互関係に関する知識を身につけている	②栄養・食品・調理に関する知識・技術を修得し、個人および集団の健康維持・増進、疾病予防を実践できる	③環境づくり(食情報・食物および食品確保・食の消費と安全など)の必要性を理解し実践できる	④疾病の予防・治療および再発を防ぐための食事栄養療法の科学的根拠に基づき説明できる	⑤栄養ケアマネジメントを実践できる
生活習慣病論 X231-594-15	代表的な生活習慣病をとりあげて、原因、特徴、治療について学び、病気の予防ができるようにする。	生活習慣病の原因を理解し、その予防策が実施できる。	◎				
健康スポーツ医学 X131-592-16	老化やそのメカニズム、高齢者の疾患について理解し、健康を維持するための運動と食生活の役割を理解する。	超高齢化社会における運動と食生活の役割を理解する。	◎				
医科学Ⅰ X231-594-17	疾患別病態生理を学ぶ。	代謝性疾患、内分泌疾患、循環器系疾患など生活習慣病について学ぶ。	◎			○	△
医科学Ⅱ X331-531-18	疾患別病態生理を学ぶ。	消化管疾患について学ぶ。	◎			○	△
医科学Ⅲ X431-503-19	疾患別病態生理を学ぶ。	脳神経系疾患、呼吸器系疾患、腎臓疾患、血液疾患、免疫・アレルギー系疾患、骨代謝疾患について学ぶ。	◎			○	△
病原微生物学 X231-495-20	食中毒のみならず、主要な感染症を理解するための基本的な知識の習得をねらいとしている。	微生物の生態や特性を把握し、さらに食中毒や感染症などの疾病に係わる現象を科学的に理解するための基礎知識を習得する。加えて衛生概念や滅菌・消毒の概念などについても理解する。	○		△		
食品成分学 X111-388-21	栄養素や機能性成分を含む様々な食品に含まれる植物性食品、動物性食品素材を対象に、調理や加工、配合などの過程における成分の特性、変化を総合的に学ぶ。	管理栄養士をはじめ食品関連分野で必須な基礎と研究方法を身につけることができる。日常利用している食品成分の特性、変化を総合的な視野から考察する力を養うことができる。	◎				
食品基礎分析実験法 X213-388-22	食品成分の分析法に関する基礎を理解する。	食品成分の分析法の知識をもとに実践できるようにする。	○	◎	◎	○	
食品機能評価法 X111-388-23	食品機能評価法の基礎、食品の三次機能、いわゆる生体調節機能として、抗酸化能をはじめ、がんや各種血管障害、肥満、アレルギー等に対する予防や軽減化などに関わる食品成分についての評価法を学ぶ。	食品成分の分析法や機能の評価法について、解説し説明できる。			◎		
食品応用分析実験法 X333-388-24	食品の機能性・食品成分の生体における作用に関する基礎を理解する。	食品の機能性・食品の生体における作用を調べる実験法を学ぶ。	○	◎	◎	○	
食品機能化学 X231-388-25	食品の1次～3次機能(栄養機能、嗜好機能、生体調節機能)に関わる成分について、化学的見地から学ぶ。	主要な食品成分の栄養機能、嗜好機能、生体調節機能について、解説し説明できるようにする。		◎			
食品健康科学論 X331-388-26	食と健康を科学的根拠に基づいて考察する。	食と健康を食品成分との相互作用の観点から理解を深める。	○	◎	◎	○	
調理学 X111-594-27	多様な物質が調理過程で科学的、物理的、組織的に変化することを理解して、好ましい食べ物をつくりだすための調理条件を身につけるとともに実践時に応用できる力を養うことを目的とする。	調理プロセス全般を科学的に理解し、実践時に応用できるようになる。	○	◎	○		
調理科学実験 X113-594-28	調理の過程で起こる現象を実験を通して、科学的・物理的・生物学的・数学的などさまざまな視点から観察し、科学的思考能力を養い、講義では理解しにくい調理学の理論をより深く理解する。	実験を通して、調理過程における物質の変化を科学的に理解させ、学生の理解力、観察力および科学的思考を養うことを目標とする。	○	◎			
基礎調理実習 X113-594-29	調理理論を調理実習により実践し、食品の調理特性の確認と調理技術とを関連づける。	基礎となるひとつひとつの調理操作をしっかりと身につけるとともに、食材の選び方・扱い方、栄養・機能性成分の生かし方、調理のコツについて学び、応用する実践力を養う。	○	◎			
応用調理実習 X113-594-30	基本となる調理を、確実に自分のものとするため応用調理実習を体得する。	食材とその栄養的価値、調理法によるその違いなどを考慮した献立や応用献立へ展開できるようにする。	○	◎			
食品安全管理学 X211-388-31	食品安全に関する基礎を理解する。	食品を安全に取り扱う専門知識を身に付け、実践に結び付けられるようにする。	○	◎	◎	○	

健康科学部健康栄養学科 カリキュラムマップ			健康科学部健康栄養学科のディプロマポリシー (DP)				
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	X-DP1	X-DP2	X-DP3	X-DP4	X-DP5
			①栄養・食生活と健康との相互関係に関する知識を身につけている	②栄養・食品・調理に関する知識・技術を修得し、個人および集団の健康維持・増進、疾病予防を実践できる	③環境づくり(食情報・食物および食品確保・食の消費と安全など)の必要性を理解し実践できる	④疾病の予防・治療および再発を防ぐための食事栄養療法の科学的根拠に基づき説明できる	⑤栄養ケアマネジメントを実践できる
食品安全学実験 X213-388-32	実験を通じて食品衛生法をはじめとする衛生規範を学び、食品衛生の問題点を把握し対処法を理解する。	食品の安全性に関する基礎知識と実験手法の習得を目的とする。	○	◎	◎		
基礎栄養学 X111-594-33	栄養素とは何か、その構造、機能について基礎的な理解を得る。栄養素の欠乏、過剰により引き起こされる疾患について知識を得る。	栄養学について基礎的な学習をすることで、管理栄養士としての栄養および食事指導、献立作成の理論的根拠を説明できるようになる。	◎	◎	○	◎	◎
栄養学実験 X213-594-34	基礎栄養学の講義で学習した内容について、みずから手を動かして、体験することによって、より理解を深める。栄養素について定性実験および定量実験を行う。	栄養学に携わるものとして必須である定量実験の基礎的手法について習熟し、実験ノートを作成できるようになる。	○	◎		○	
栄養生理学 X231-594-35	食・栄養に関連する深い体の生理や健康の概念を理解する。	食生活と体の生理がどんなふうに関連しあっているかを考えることができる。	○			○	
応用栄養学 X211-594-36	個人や集団の栄養を適切に管理(栄養管理)する考え方を学習。	ライフステージや特殊環境における個人や集団の身体状況・栄養状態を食事摂取基準2020年版を活用して正しくアセスメントできる。	◎	○	○	△	◎
母子栄養学 X211-594-37	妊婦・授乳婦、小児の栄養管理とケアを学ぶ。	母子の身体特性、栄養状態を把握し、対象に応じた栄養管理、ケアについて説明できる。	○	△	○	○	○
加齢栄養学 X231-594-38	高齢者の生理機能、免疫機能、栄養代謝の変化などの特徴と栄養上の問題点・疾病について理解した上で、栄養ケアマネジメントの理論と方法を学ぶ。	加齢に伴う生理機能の変化を理解し、高齢者の栄養上の問題・疾病に即した栄養ケアマネジメントができるようになる。	○	○	○	◎	◎
スポーツ栄養学 X331-594-39	スポーツのパフォーマンスに貢献する栄養学と健康に役立つ栄養学を学ぶ。	健康とスポーツの競技力向上に必要な栄養学的知識を習得し、自分自身で「何を食べる・どのように食べるか」のアスリートの、健康的な食事管理ができるようになることを目標とする。	◎				
応用栄養学実習 X313-594-40	ライフステージ・ライフスタイル別に適応した栄養マネジメントを学ぶ。	ライフステージ・ライフスタイルにおける人体の構造、身体機能の変化に伴う栄養アセスメント(栄養状態に関連したパラメータの評価・判定)の考え方や方法に基づき、栄養摂取量、モニタリングなど栄養マネジメントの展開ができるようになる。	◎	◎			◎
栄養教育論 X111-594-41	栄養教育の意義と特性を理解し、栄養教育の方法を学ぶ。	栄養教育に関わる理論と教育方法を説明できる。	○	△	○	△	○
栄養教育各論 X311-594-42	ライフサイクル、ライフステージ別の栄養教育の方法を学ぶ。	対象別の栄養教育の実践のための理論と方法が説明できる。	○	△	○	○	○
栄養教育実習 X213-594-43	栄養教育技法として、栄養アセスメント、栄養教育計画、集団指導、個別指導の技術を習得する。	栄養教育の意義と特性を理解し、個人および集団を対象とした栄養教育を行うことができる。	○	◎	○	△	◎
栄養カウンセリング論 X231-594-44	栄養カウンセリングを体験実習することで、ガイダンス(指導)、コーチング、カウンセリング法の違いと効果をわきまえて、クライアントの状況に合わせた視点技術の展開と健康教育を学ぶ。	栄養カウンセリングの意義と特性、技法について理解し、説明できる。栄養カウンセリングの具体的な活用方法について説明できる。個人を対象とした栄養カウンセリングの基本について理解し、実践できる。グループカウンセリングの意義と特性、技法について理解し、説明できる。	○				
健康・栄養情報演習 X232-594-45	管理栄養士に必要な栄養情報処理技術を習得する。	特定集団の栄養・食生活データの集計・解析を行い、その課題解決のための方法を説明できる。	○	○	○	△	△

健康科学部健康栄養学科 カリキュラムマップ			健康科学部健康栄養学科のディプロマポリシー (DP)				
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	X-DP1	X-DP2	X-DP3	X-DP4	X-DP5
			①栄養・食生活と健康との相互関係に関する知識を身につけている	②栄養・食品・調理に関する知識・技術を修得し、個人および集団の健康維持・増進、疾病予防を実践できる	③環境づくり(食情報・食物および食品確保・食の消費と安全など)の必要性を理解し実践できる	④疾病の予防・治療および再発を防ぐための食事栄養療法の科学的根拠に基づき説明できる	⑤栄養ケアマネジメントを実践できる
健康行動科学 X231-594-46	健康や病気をめぐる人間行動について行動科学的に学ぶ。	健康・栄養に関わる行動科学について理解し、説明できる。行動科学の具体的な活用方法を理解できる。行動変容を目的とした技法の基本について理解し、実践できる。問題解決をはかる技法について理解し、実践できる。	○	○			
臨床栄養学総論 X211-594-47	傷病者の病態や栄養状態の特徴に基づいた適正な栄養管理の基礎を理解する。	栄養ケアプランの作成、実施、評価に関する総合的なマネジメントを考えることができる。				◎	○
臨床栄養学各論 X211-594-48	栄養状態を的確に評価・判定し、それに見合った栄養補給方法を理解する。	データをもちいて、個人やある特定集団の栄養状態を総合的に評価・判定できる。				◎	○
分子栄養学 X331-594-49	近年の分子生物学の進歩は目覚ましく、栄養学においてもその知識取得は必須である。栄養素による細胞内シグナル伝達、遺伝子発現の制御に関する最新の知識を得る。	栄養素による細胞内シグナル伝達、遺伝子発現の制御のメカニズム、メタボリックシンドローム、フレイル発症への栄養素の関与について上記の知識を体系的に身につける。	◎	◎	○	◎	◎
栄養アセスメント論 X331-594-50	栄養状態を的確に評価・判定し、効果的な「個栄養補給を理解する。	」を対象に栄養管理計画を立て、それについて説明できる。				◎	◎
栄養ケアマネジメント論 X331-594-51	対象者の臨床診査、臨床検査、身体計測、食事摂取調査、環境要因などにより総合的に栄養状態を評価・判定し、問題点の背景・関連要因について考察し栄養ケア計画を立案・実施することについて学ぶ。	栄養ケアマネジメントのプラン作成ができるようになる。	◎	◎	○	◎	◎
臨床栄養学実習 X313-594-52	栄養アセスメントの指標を理解し疾患別に適した栄養量を策定し、献立作成・調理を行う。	栄養療法のプラン作成ができるようになる。	◎	◎	○	◎	◎
臨床栄養管理実験 X333-594-53	正しい測定法、測定値の意味および病態との関係を理解する。	正しい計測・検査ができる。				◎	○
介護概論演習 X431-262-54	「高齢者」に焦点をあて、身体的、精神的、社会的側面から加齢に伴う変化、高齢者に対する制度政策について学ぶ。	社会保障制度としての「介護保険法」の理念並びに仕組みを学び、高齢者介護サービス提供についての現状と課題を理解する。	○				
口腔機能論演習 X331-578-55	口腔の機能、疾患について理解し、管理栄養士としての治療における役割を学ぶ。	口腔各部の構造、機能、疾患、予防・治療法について知り、説明できるようになる。咀嚼、摂食・嚥下と関係のある、種々の口腔機能について知り、説明できるようになる。	◎				
運動療法論 X331-592-56	健康づくりについて、栄養面からだけでなく運動面からも学ぶ。	健康づくりと運動の関係性について学び運動に関する知識を理解し、様々な視点から健康づくりを捉えることのできる論理的思考力を修得する。	○				
公衆栄養学 X211-594-57	公衆栄養学の概念とその重要性を理解する。	歴史上の栄養疫学の業績、わが国の栄養政策・活動を説明でき、栄養疫学の指標と方法を論じることができる。現在の健康・栄養問題、関連要因の分析ができ、公衆栄養学の概念を説明できる。	◎	◎	◎	○	○
公衆栄養活動論 X331-594-58	公衆栄養政策への理解および公衆栄養活動を効果的に進めるための方法とスキルを習得する。	公衆栄養活動は、生態系保全・地域づくり・健康増進・疾病予防等多様な目的を持つ地域社会の組織的な努力を通じて行われる活動であることを理解でき、オーガナイザーとして必要な能力を身につける。	○	○	◎	◎	◎
環境健康医学 X331-583-59	自然環境や社会環境が健康に及ぼす影響を知り、適切な対処について学ぶ。	環境汚染や公害などの社会環境と健康との関係や影響について理解し、ヘルスプランを考察することができるようになる。	○		◎		

健康科学部健康栄養学科 カリキュラムマップ			健康科学部健康栄養学科のディプロマポリシー (DP)				
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	X-DP1	X-DP2	X-DP3	X-DP4	X-DP5
			①栄養・食生活と健康との相互関係に関する知識を身につけている	②栄養・食品・調理に関する知識・技術を修得し、個人および集団の健康維持・増進、疾病予防を実践できる	③環境づくり(食情報・食物および食品確保・食の消費と安全など)の必要性を理解し実践できる	④疾病の予防・治療および再発を防ぐための食事栄養療法の科学的根拠に基づき説明できる	⑤栄養ケアマネジメントを実践できる
公衆栄養学実習 X433-594-60	公衆栄養学および公衆栄養活動論で学んだヘルスプロモーションの理論(プリシード・プロシード)を活用し、地域で健康・栄養改善を進めるプログラムを計画・実践・評価する。	グループ討議、地域栄養計画立案に必要な情報収集、優先的な課題の把握・診断ができる。課題解決のための効果的なプログラムの計画ができ、運営実施・評価ができる。	◎	◎	◎	◎	◎
食事調査演習 X232-594-61	各種食事調査法の理解と秤量食事記録法による他者の3日間食事調査を体験する。栄養素量の計算後は応用栄養学で学んだスキルの実践。	食事調査法の特徴が説明でき、食事内容の面接聞き取り(コミュニケーション)・栄養素等摂取量の算出スキルを身に着ける。その後は応用栄養学で身に着けた能力を実践し適切な栄養指導へと応用できる。	○	○	△	○	○
給食経営管理論 X211-594-62	給食施設における管理栄養士の役割を理解し、給食の運営や関連の資源を総合的に判断し、栄養面、安全面、経済面全般のマネジメントを行うための基本的な考え方とその具体的な方法について学ぶ。	特定給食施設の運営に必要な制度、栄養管理・衛生管理に必要な知識を理解し説明できるようになる。	○	◎	◎		
給食経営管理基礎実習 X313-594-63	150食分の献立作成から発注・大量調理・検査・残食調査による評価にいたる一連を体験し、給食運営に関する方法、技術等を習得することを目的とする。	それぞれの役割を体験することにより給食経営管理の全体を理解する。	○	○			
給食経営管理応用実習 X313-594-64	大量調理の作業管理までを体験し理解する。HACCPの概念にそった衛生管理の実践を実践する。喫食者に対するアンケートの作成ならびに集計・解析を行い、調査結果を判読する能力を習得する。	管理栄養士が各職種、各作業領域に対してどのような役割を担っているか理解する。	○	○			
フードマーケティング論 X331-411-65	フードマーケティングの専門的知識を習得する。	マーケティングの歴史的考察やその役割を理解し、マーケティングの展開についてその企業戦略と競争の観点から検討できるようになる。			○		
フードサービス論 X231-594-66	フードサービスについて多角的な視点から捉えることができる専門的知識の習得。	外食産業におけるフードサービスについて説明できるようになる。			○		
健康栄養科学入門 X131-841-67	健康栄養学科で学ぶ専門分野の基礎的知識と学習方法について理解する。	専門分野を横断し、個人や集団を対象とした栄養評価および管理が行える総合的な能力を養うことを目指す。	○			○	
健康管理総合演習 X432-841-68	最近増加しつつあるメタボリックシンドローム、糖尿病、高血圧、高脂血症など生活習慣病の基礎治療である食事療法・運動療法について本学歯学部付属病院外来患者を対象とし、問診や検査結果に基づき、管理栄養士として食事療法・運動療法指導の臨床栄養管理演習を行う。これまでの学習から、患者に寄り添い患者から学ぶ能動的な自立した学習を通して、管理栄養士としてのコミュニケーション技術、栄養指導・臨床栄養管理技術を養う。	①管理栄養士として、患者とのラ・ボアラを築くことができる。②糖尿病等患者に対する個別指導ができる。③患者・医師・チーム間で良好なコミュニケーションが構築できる。④最新の高いエビデンスのある情報が収集でき、活用できる。	○	○	○	◎	○
管理栄養士総合基礎演習 X432-841-69	チーム医療の一員となりうる臨床志向の管理栄養士養成を目指して総合的な演習を行う。それぞれの領域を横断して栄養評価や管理を行う能力を養うために必要とされる基礎的な知識と技能について、演習を通して系統的に学ぶ。	管理栄養士として必要な知識と技術を系統的に学ぶ。	◎	◎	◎	○	○
管理栄養士総合応用・臨床演習 X432-842-70	専門分野で学習した内容を統括して、病院、福祉、介護、産業、学校、地域保険などの職域で栄養アセスメント、栄養ケアマネジメント、栄養教育を行うことができる実践力を養うための演習をオムニバス形式で行い、専門分野を横断した総合的な能力を高めることを目的とする。	管理栄養士として必要な応用・臨床の知識と技術を総合的に学ぶ。	◎	◎	◎	○	○

健康科学部健康栄養学科 カリキュラムマップ			健康科学部健康栄養学科のディプロマポリシー (DP)				
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	X-DP1	X-DP2	X-DP3	X-DP4	X-DP5
			①栄養・食生活と健康との相互関係に関する知識を身につけている	②栄養・食品・調理に関する知識・技術を修得し、個人および集団の健康維持・増進、疾病予防を実践できる	③環境づくり(食情報・食物および食品確保・食の消費と安全など)の必要性を理解し実践できる	④疾病の予防・治療および再発を防ぐための食事栄養療法の科学的根拠に基づき説明できる	⑤栄養ケアマネジメントを実践できる
臨地実習事前事後演習 X312-842-71	臨地実習の意義を理解し、学習効果の高い学外実習を行うために、栄養士・管理栄養士の業務について、事業所給食施設、病院、福祉施設などの施設別の実習準備と事後教育を実施する。	栄養士・管理栄養士の社会的な役割として自覚できるようにし、職務の体験を通して、専門的業務内容を総合的に理解し、説明できるようにする。	○	○	○	○	○
臨地実習Ⅰ(校外実習を含む) X313-851-72	栄養士・管理栄養士免許取得に必要な臨地実習として、集団給食施設において、給食経営管理および栄養改善上必要な指導に関する実務実習を行う。	集団給食施設における栄養士・管理栄養士の意義と業務について、専門知識の説明と実践ができるようになる。	○	◎	◎	○	○
臨地実習Ⅱ X333-851-73	管理栄養士免許取得に必要な臨地実習として、医療・福祉施設において2週間の栄養ケアマネジメントに関する実習を行う。	医療・福祉施設における実務実習を通して、栄養ケアマネジメントの実践について説明し、実践できる。	○	◎	◎	◎	◎
臨地実習Ⅲ X333-851-85	臨地実習は、学内の講義・実習で修得した成果を、社会で応用する実践トレーニングの第一歩である。臨床栄養学の臨地実習では、病院、介護老人保健施設で実際に業務を体験し、管理栄養士としての技術を修得することを目的として1週間の実習を行う。	臨地実習Ⅱをさらに深めた内容で臨床栄養に必要な知識・技術・資質、管理栄養士の責務としてそれらの必要性がより理解できる。管理栄養士業務を体験する中で、修得した知識及び技術の活用について説明できる。管理栄養士の職務を体験し、社会的な役割および責任に関して、説明できる。臨地実習施設および学内実習担当者、グループの報告・連絡・相談事項を類別し、状況に応じた対応ができる。管理栄養士として実習目的を理解し、適切な業務判断ができる。管理栄養士の職務に基づいて、自らの課題やその改善点を導き出すことができる。	○	◎	◎	◎	◎
臨地実習Ⅳ X333-851-86	給食経営管理論の臨地実習では、事業所・社会福祉施設等の集団給食施設において、実際の業務を体験し、管理栄養士としての技術を体得することを目的として1週間の実習を行う。	給食経営管理に必要な知識・技術・資質に気づき、管理栄養士の責務としてそれらの必要性が理解できる。管理栄養士業務を体験する中で、修得した知識及び技術の活用について説明できる。管理栄養士の職務を体験し、社会的な責任に関して、説明できる。臨地実習施設および学内実習担当者、グループの報告・連絡・相談事項を類別し、状況に応じた対応ができる。管理栄養士として実習目的を理解し、適切な業務判断ができる。管理栄養士の職務に基づいて、自らの課題やその改善点を導き出すことができる。	○	◎	◎	○	◎
臨地実習Ⅴ X333-851-87	臨地実習は、学内の公衆栄養学、公衆衛生学、栄養教育論、ライフステージの栄養学等の講義・実習で修得した成果を、社会で活かす実践的トレーニングの第一歩である。この実習では保健所、保健センターで、実際に業務を体験し、管理栄養士としての技術を体得することを目的として1週間の実習を行う。	公衆栄養活動に必要な知識・技術・資質に気づき、管理栄養士としての責務としてのそれらの必要性が理解できる。地域社会の健康・栄養問題および関連要因の把握、課題分析を行うことができるようになる。臨地実習施設および学内実習担当者、グループの報告・連絡・相談事項を類別し、状況に応じた対応ができる。管理栄養士として実習目的を理解し、適切な業務判断ができる。管理栄養士の職務に基づいて、自らの課題やその改善点を導き出すことができる。	○	◎	◎	◎	◎
健康栄養学特論 X431-842-74	学生各自が修得してきた専門基礎分野および専門応用分野の学問を進路に併せてさらに発展させ、学士力を高めることを目的として、専門分野別に最先端の知識と技術について総まとめを行う。	健康と栄養に関する基礎から応用に至る科学の総まとめを行う。	◎	◎	◎	○	○

健康科学部健康栄養学科 カリキュラムマップ			健康科学部健康栄養学科のディプロマポリシー (DP)				
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	X-DP1	X-DP2	X-DP3	X-DP4	X-DP5
			①栄養・食生活と健康との相互関係に関する知識を身につけている	②栄養・食品・調理に関する知識・技術を修得し、個人および集団の健康維持・増進、疾病予防を実践できる	③環境づくり(食情報・食物および食品確保・食の消費と安全など)の必要性を理解し実践できる	④疾病の予防・治療および再発を防ぐための食事栄養療法の科学的根拠に基づき説明できる	⑤栄養ケアマネジメントを実践できる
管理栄養士海外研修 X233-852-75	国際的視野をもつ管理栄養士を育成するために、海外の大学にてRD (registered dietitian)による講義、病院・福祉・学校・集団給食施設の見学を通して研修を行う。	グローバルな視点で栄養・食生活の問題を捉えて思考し、英語でのコミュニケーションの幅が広がるようになる。	○	○	○		
心身科学特論 X331-594-77	心身科学部2学科の教員が、それぞれの専門の立場から、学生にとって有用な知識や最新の研究成果をわかりやすく紹介する。	「心」、「身体」、「食」と健康との関連を理解し、これらの視点から、人間の思考や行動を考え、心身の健康の重要性を説明できる。	○	○	△	○	
健康栄養総合演習 X312-842-78	各ゼミナールにおいて、各分野にかかわる調査・研究の方法について学ぶ。	検索した論文を読み、内容を説明することができ、論文作成に至るまでのプロセスを説明することができる。	○	○	○	◎	○
健康栄養専門セミナー X411-842-79	各ゼミナールにおいて、健康栄養総合演習で学習した内容の理解をさらに深め、より実践に基づいた方法を学ぶ。	検索した論文を読み、内容を説明することができ、論文作成に至るまでのプロセスを説明することができる。内容を理解し、判定・評価を適切に行うことができる。	○	○	○	◎	○
卒業研究 X336-845-76	各ゼミナールで設定したテーマに基づき、調査や実験を行い、卒業論文としてまとめ、成果を発表する。	講義や実験・実習で学んだ知識、技術を活かして適切に評価し、論理的にまとめることができる。	○	○	○	◎	
有機化学 X131-471-80	私たちの健康を食生活から考える専門家としての有機化学の基礎から応用までの修得。	栄養学、食品学、生化学の基礎としての有機化学を健康と栄養の面から理解させる。生活を科学的に分析し、より快適な食生活を送るにはどのような改善が必要かを認識できるようになる。	○	○	△		
分析化学 X131-772-81	私たちの健康を食生活の面から支える専門家としての食品成分分析に必要な知識を基礎から応用まで習得。	食品分析に必要な基礎的知識や分析化学の原理と方法、物質質量や数値の取り扱いなどについて学び、学習した化学的知識や分析化学の基礎を食品化学や栄養学に応用できるようになる。	○	○	△		
管理栄養士セミナー X331-842-83	管理栄養士としての専門分野を結合して活用できる能力を育成するために、セミナー形式で学ぶ。	管理栄養士として必要な知識と技術を分野横断的に学ぶ。	◎	◎	◎	○	○

◎・・・DP達成のために、特に重要な事項

○・・・DP達成のために、重要な事項

△・・・DP達成のために、望ましい事項